

# 知多の自然観察

2013(平25)年度

# 年報



“本物と向き合う大切さ”

## 知多自然観察会

—愛知県自然観察指導員連絡協議会知多支部—

## はじめに

知多半島の自然環境は奥山と溪流こそ存在しないが、海、里山、川、ため池、湿地、公園、神社の社叢等、身近な所に自然豊かな観察場所がある恵まれた地域である。この自然環境に囲まれたこの地へ今年も知多半島5市5町はじめ名古屋市等、近郷にお住まいの、自然の好きな、自然保護活動に興味をもたれる方のご参加を頂きまして観察会は実施された。この年報は各地域で開催された自然観察会記録と当会の活動内容を掲載いたしています。紙面制約上、この年報に記載されてない観察会記録はホームページの知多自然観察会から検索して下されば幸いです。

さてこの1年を顧みますと、猛暑、台風、集中豪雨、竜巻突風、過去に無い異常気象で史上最高の記録づくめの2013年になりました。この地球環境全体による異変に気づいて見える方は多いと思います。過去、近年代を顧みると生物の頂点に立つ人類が生活環境の利便性と利益を求め人類の都合の好いように、地球環境を破壊してきた結果であることは皆さん心身で感じて見えることでしょう。しかし身近に自分が環境被害を受けていないと地球環境改善に向けての活動努力と行動をしないのが現実ではないでしょうか。地震以外の天災、災害は過去に人間が生活環境利便性を優先に考え行動してきた影響が大きいと考えられます。

目に見えない自然破壊を少しでも阻止しようと生物多様性、自然保護に向けて2010年10月に愛知県で開催されたCOP10を契機にして自然と共生する地域づくり、生物多様性戦略短期目標2020年～愛知目標達成に向けて～と題して「生物多様性の損失を止めるために、効果的かつ緊急な行動を実施する」と国、地方行政を挙げての環境活動が展開されています。私たちに出来ることの一つとして、身近な自然観察会を通じて環境改善、生物多様性、生態系の保全の活動の意識が社会に浸透していく様に観察会に参加される皆様に自然について考えていただくと同時に参加される方々と共に「自然観察から始まる自然保護活動」に繋がる輪を広げて参りたいと思います。

所詮人間は自然に生かされている生物でありますと同時に、生物の頂点であり生態系自然環境活動をコントロールのできるのが人間であります。一人ひとりが身近な事から出来る、自然保護活動、環境保全共生活動を心がけていただき、地球にやさしい生活をして「人と自然の共生」に向けた行動を今から実践して行く事が大切です。人間は自然に生かされていることを自覚して、「自然に学び」「自然を親しみ」「自然を守る」の原点を再認識して、矻矻と地道に持続可能な活動していく事が大切であると考えています。

知多自然観察会代表 南川 陸夫

# 目 次

	頁
はじめに	
1 目 次	2
2 編集について	3
3 知多自然観察会について	
・概 要	4
・会 則	5
・総会報告書（2013年（平成25年）2月16日 開催）	6
4 年間事業計画（会員用）	11
5 ブロック主催観察会一覧	16
○活動内容具体例（抽出）	
・阿久比 18～20   ・常滑 21～22   ・知多 23           ・東浦 24～25	
・半 田 26～27   ・美浜 28～29   ・武豊 30～32	
6 受託観察会 I	33
○活動内容具体例（抽出）	
・支 部 36～39   ・常滑 40～41   ・大府 42～44   ・知多 45～47	
・東 浦 48～49   ・東海 50～51   ・半田 52～53   ・美浜 54～55	
7 受託観察会 II	56
○活動内容具体例（抽出）	
・2/24 東海市生活環境課…57            ・7/ 8 南知多町師崎小学校…58	
・8/ 5 阿久比町中央公民館…59           ・8/22 知多市社会福祉協議会…60	
・10/18 知多市立旭北小学校…61	
8 調査活動（須賀川の魚）	62
・趣旨および概要…62      ・調査報告書 1 …63      ・調査報告書 2 …64	
9 掲示板（投稿記事）	65
10 発表の場（投稿記事）	68
11 県民センター主催観察会実施案（公園）	70
12 みどりの少年団交歓会実施案	74
編集後記	76

【編集について】

知多自然観察会HPのURL  
<http://chitakan.com/>

この「2012年度年報」は2012年1月～12月の活動の報告です。  
また、この冊子に掲載の記事は上記ホームページからの抽出です。  
従って、掲載の活動例などはホームページをプリントアウトしたものをそのまま利用しています。ただし、一つの活動を印刷しますと掲載写真の多いページは2, 3ページどころか10ページ以上になるものもありますので、ここでは、すべて、最初の1ページに程よく収まる程度のみだけを印刷し掲載しました(95%～80%の縮小印刷です)。そのため掲載の写真が活動の中心を表していないことが多々あります。このことも併せて宜しくご承知下さい。機会がありましたら、是非、上記ホームページにアクセスいただき実際の全ページをご覧下さい。

2001.7.26 開設  
1 8 4 4 7 6

Google™

Google 検索



知多自然観察会 自然を皆様と親しみます。  
自然を皆様と学びます。  
自然を皆様と大切にします。  
自然を観察して仲間をつくります。

観察会へ参加される方はここをご覧下さい ⇒ [観察時のお願い](#) (←クリック)

2013年度 ↓	年度の途中で依頼を受け実施します (一般の参加はできません) ↓				
<a href="#">観察会の予定</a> (記録も含む)	<a href="#">臨時の観察会</a> (記録が中心)	<a href="#">過去の観察会</a> (記録も含む)	<a href="#">掲示板</a> <small>意見交換・(-)</small>	<a href="#">会員個人の発表</a>	<a href="#">調査活動</a>
<a href="#">研修・旅行等</a>	<a href="#">当会の案内 入会の条件</a>	<a href="#">問合せ先 入会申込書</a>	<a href="#">リンク</a>	<a href="#">会員専用</a>	<a href="#">会 則 役員一覧</a>

自然の楽しさを 自然の大切さを みんなに  
わたくしたちはこんな活動(←クリック)をしています

Copyright (C) Chita Shizen Kansatsukai. All Rights Reserved.  
サイト内に掲載の記事・写真などを利用する時は連絡してください。

以下は知多自然観察会HPのトップページです。  
※2013. 12. 31 現在のトップページ

## 本会の概要

### 1. 名称等

- ・会の名称 知多自然観察会  
—愛知県自然観察指導員連絡協議会知多支部—
- ・設立年月 1982年5月  
知多地方自然観察研究会の名称で発足（会員8名で発足）
- ・周年記念 2002.5 発足20周年記念大会開催（知多市地域文化センター）  
2012.11 発足30周年 “ ” （ “ ” ）
- ・会則制定 2006.2.19 総会で承認
- ・総 会 原則、毎年2月に開催
- ・事業年度 4月から翌年3月。ただし、会計年度は1月から12月
- ・会の目的 自然観察会等を通して自然とつきあうことの楽しみを人に広めるとともに活動の場となる自然を守るように努力する（会則より）
- ・会 員 98名（2013.5.1現在）
- ・役 員 18名（ “ ” ）  
（顧問、代表、副代表、庶務、会計、会計監査、ブロック代表）
- ・ブロック 8ブロック（2013.5.1現在）  
（阿久比、常滑、大府、知多、東浦、半田、美浜、武豊）
- ・年会費 1,000円

### 2. 自然観察会の実施状況（年間）

- ・自然観察会 本会主催観察会（ブロック主催の観察会）…約40回  
受託観察会Ⅰ（前年度に予約済の観察会）…約70回  
受託観察会Ⅱ（臨時の要請による観察会）…約20回
- ・観察会の場所 知多半島の各所  
公園 野道 川 海岸 里山 神社 湿地
- ・一般参加者数 少ないとき…0～1家族（2, 3名） 多いとき…数十名  
当日指導員…2～10名（特別な場合20名以上動員可）
- ・雨天の場合 雨天は原則中止。ただし、担当指導員はじめほかの指導員が集合するので中止宣言のあと、そのまま観察に出発することもある。一般参加者もよければ一緒に行動することは可能である

### 3. 観察会の様子 原則 土曜または日曜 9:30～11:30

- ・公園…駐車場に集合。公園内の散策路から観察
- ・野道…適切な駐車場から野道をゆっくり歩きながら
- ・海岸…適切な駐車場から海岸へ移動。潮位の事前確認が必要
- ・川…適切な駐車場から川へ移動。脚立で降りる。夏日はテントが必要
- ・朽木…林の中の朽ち木をマイナスドライバーでばらす
- ・工作…自然の材料を利用。グルーガンを使用する場合もある
- ・夜…夜集合。ナイトハイクしながら観察。灯火装置をセットする場合もある

- (名称) 第1条 本会は知多自然観察会と称する。
- (目的) 第2条 自然観察会を通して自然とつきあうことの楽しみを人に広めるとともに活動の場となる自然を守るように努力する。
- (事業) 第3条 前条の目的を達成するため次の事業を行う。  
自然観察会ガイド、里山活動、自然物の工作、生きもの調査、総合的学習のお手伝い、会員研修会など
- (会員資格) 第4条 自然観察指導員講習会を受講した者、または、本会の目的に賛同者で本会への参加を希望する者とする。
- (会費) 第5条 本会の会費は年額1,000円とする。  
2. 会員は毎年総会開催日から5月末日までに会費を納入しなければならない。  
3. 年度途中に入会の場合も会費は1,000円を入会時に納入しなければならない。  
(但し、11月1日から総会前日までの入会はその間の会費は免除する)
- (退会) 第6条 退会を希望する会員は代表または世話役に申し出るものとする。  
なお、会費未納の場合にはその資格を失う。
- (役員) 第7条 本会には次の役員をおく。  
顧問 若干名  
代表 1名  
副代表 若干名  
世話役 各地区ブロックからの代表  
庶務 1名  
会計 1名  
会計監査 2名
- (役員の任期) 第8条 任期は一年とするが再任を妨げない。
- (役員の選出) 第9条 代表・会計監査は会員内より互選する。総会で承認を得る。  
顧問・副代表・庶務・会計は代表が委託する。総会で承認を得る。  
世話役は各地区ブロックで互選する。総会で承認を得る。
- (役員の補充) 第10条 役員に欠員が生じたときは速やかに代理を選出する。
- (総会) 第11条 本会は毎年1回、原則2月に総会を開催するものとする。  
総会の決議は出席者の過半数による。
- (役員会) 第12条 総会に代わる決議機関とする。
- (会計年度) 第13条 会計年度は毎年1月1日に始まり12月31日に終わる。
- (会則の変更) 第14条 会則の変更は総会または役員会において過半数の賛成を得て行なう。
- (内規) 第15条 本会の円滑な運営のために内規を定めることができる。
- (附則) 1 この会則は平成24年2月12日より実施する。  
2 本会の事務局は当分の間、庶務宅とする。

\* 附則の1の年月日は総会で変更があつた場合、その総会の実施日が記される。

- (補則) 1. この会則の最初の制定日は平成18年2月19日である(当日の総会で承認された)  
2. 第1次改正は平成19年2月19日の総会で7条を変更した。  
3. 第2次改正は平成23年2月13日の総会で7条を変更した。  
4. 第3次改正は平成24年2月12日の総会で第5条・7条・9条の条文を上記の通りに変更した。

## 知多自然観察会 2013年度 総会議事録

【日 時】2013年（平成25年）2月16日（土曜日）9時40分から12時05分まで

【場 所】エスペランス丸山（阿久比町椋岡）

【出席者】降幡代表はじめ33名

【司 会】南川副代表

※ 開会に先立ち黙祷（お二人の会員が昨年亡くなられた）

### 1. 開会の言葉……………（副代表/研修担当：榑原靖）

今までの活動を振り返ると、顔なじみの方が積年の表情になったと感じた。今後とも健康で活動を進めて行きたい。

### 2. 代表挨拶……………（代表：降幡）

観察会発足30年。皆様のご協力で30周年記念行事も行うことができた。年間150以上の行事を開催できたのも、皆様のおかげ。「自然に学び、自然の大切さを教える」ことが、地方公共団体とのつながりもでき、より多くの方に伝えることができるようになった。「COP10」行事以来、県観察会受託、生態系ネットワークとのつながりもできてきた。生き物のつながりを幅広い視点で見ることや地域や企業との連携もでき始めていることを感じて、これからは楽しみだ。今後は、以上のこと念頭に置きながら、活動を進めたいと思っている。

○配付資料について確認（司会：南川）

### 3. 出席者自己紹介……………（各自 15秒以内で）

\* 略

\* 指導員二世が2名、新会員として加入予定

### 4. 議長、書記の選出……………議長（吉房）、書記（村瀬）

### 5. 議事……………2012年度事業報告

◎会員100名中 出席者33名・委任状53名で本会の成立を確認。

#### (1) 主な事業報告……………（報告1件あたり各1分30秒以内）

##### 1) 事業全般に関する報告〈年報P15～18参照〉…（南川）

・全行事⇒128回

・内訳 ⇒本会主催観察会38回、受託受募観察会74回（雨天中止4回）、研修4回、打合5回（みどりの少年・県民センター下見含む）、役員会11回、30周年記念行事を11月23日に開催した。 \*略

##### 2) 各ブロックの活動報告……………（ブロック代表＝世話役）

阿久比…P19（平松裕）	大府…P23（村瀬）	武豊…P24（畠）
東海…P29（平松俊）	常滑…P30（森田琢）	知多…P34（吉房）
半田…P35（榑原靖）	東浦…P37（竹内秀）	美浜…P40（永田）

\* 問題点など

- ・ 参加者は幅広くなっているが、指導員の高齢化と先細りへの不安を感じている。
- ・ 参加者が少ないと受募観察会が減らされていく。参加者の増加方法は？
- ・ 参加者募集の工夫方法は？
- ・ 安全な観察場所の確保。
- ・ 観察場所の状況で「化石探し」が危険。指導員で石を運搬するので、協力を。

\* 意見など（参加者多数の観察会の事例）

◎連続して参加した方に参加賞を授与（大府市）

◎年度初めに参加者を一括で募集（知多市地域文化センター）

3) 委託観察会に関する報告 I & II <P42, 49>……（降幡）\*略

4) 研修会に関する報告/持ち寄り会、宿泊研修<P15 活動表 他>……（榊原靖）\*略

5) 調査活動の報告……ベンケイガニ P54（森田琢）、ヒメボタル P55（平田）、竹 P56（大野）

ベンケイガニ……個人の尽力で終日観察を行った。

ヒメボタル……知多半島にはゲンジボタルの生息は確認できない。ヒメボタルは多く見られる。

竹……資料 P58 の差替え（訂正版を当日配付）

広範囲に広がる竹林の調査には、労力がかかる。マガケ・モウリチカの区別が難しい。調査はある 1 地点のみとした。個人的な見解で判断も難しいので、資料は参考としてほしい。確実性なら 2 人。能率性なら 1 人。都市化地域でも竹が存在するので、地図上の表示も目安としてほしい。かなり労力を必要とする調査。

◎今後の方針を役員会で決定してほしい。

6) ホームページに関する報告……（榊原正）

- ・ 「掲示板」への投稿や「個人の記録」（感動・発見など）をワード編集で榊原正宛送信してほしい。アップします。

7) 年報作成に関する報告……（榊原正）

- ・ 誤字の訂正。原稿を印刷所に持ち込み制作した。

8) 森税事業に関する報告 P59、60……（榊原正）

- ・ 県から報告書の提出要請があり、年報に記載した。
- ・ 購入器具についての使用目的も報告した。

9) 30 周年記念行事報告 P65……（森田琢）\*略

(2) 各種会計について

(1) 会計 通帳の種類とそれらの収入・支出の取り扱いとシステムについて

会計全般に関する共通理解のために……（榊原正）<資料-1>

- ・ 今年度も昨年どおりに運営。

(2) 会計報告（収支決算報告）……（牧野）<資料-2>

- ・ 題目「一般会計決算」
- ・ 報告 畠
- ・ 修正連絡 決算報告の日付が逆転している。

<決算日 平成 25 年 2 月 9 日 会計監査日 平成 25 年 2 月 14 日>

(3) 会計監査報告……（山田絹、蔦谷）

(4) 委託金通帳管理報告…………… (降幡) <資料-3>

・ 題目「24年度受託金見込み額」

(5) 特別会計報告(収支報告)…………… (榑原正) <資料-4>

・ 題目「特別会計 収支報告(出納簿)」

## 6. 議事…………… 2013年度事業計画案

### (1) 役員を選出

1) 代表…………… (南川陸夫)

2) 会計監査… (山本辰巳) (大野耕也)

#### ◆代表挨拶

知識も人力も不足しているが、微力ながら、会を運営させていただきたい。本会代表としては、とにかく「安全」を第一に観察会を運営してほしい。参加者の保険対策だけでなく、指導員自身の保険対策も。「足跡を残す」簡単な報告を残してほしい。「肩のこらない観察会運営を」以上の3点を。

### (2) 役員の委嘱

1) 顧問…………… (加藤寿芽)、(原 穰)、(降幡光宏)

2) 副代表…… (榑原靖) =研修担当、(榑原正) =年報・HP 担当

3) 庶務…………… (平田秀彦) =副代表兼務

4) 会計…………… (森田琢磨)

5) 会計監査… (山本辰巳)、(大野耕也)

6) 調査担当… (須賀川の調査⇒浅井一光)

(竹⇒ 未定) \*県協議会の内容よりも細かい調査を行っているので、調査地点を10分の1に減らしてもらってもよい。(県・浅井聡司より)

### (3) 世話役(各ブロック代表)と副世話役(各ブロック副代表)の選出

東海…(平松)(岩崎) 大府…(村瀬)(大嶋) 知多…(吉房)(大野)

東浦…(竹内秀)(岩本) 阿久比…(平松裕)(宮内) 半田…(榑原靖)(榑原正)

常滑…(中井三)(降幡) 武豊…(畠)(鈴木樹) 美浜…(永田)(斉藤)

### (4) 県協議会関係の担当者の選出

・ 県協議会副会長… (降幡)

・ 理事/支部代表… (南川)

・ 理事/HP担当… (永田)

・ 理事/名簿担当… (森田琢)

・ 会計監査…………… (榑原靖)

(5) 主な事業計画 <年間予定表(会員用)参照>

1) 支部全体の主な事業計画(平田)

- ①春の研修旅行 : 5月25日(土)~26日(日)「〇〇自然をたずねて」
- ②役員会7回予定 : 4月13日(土), 6月15日(土), 8月10日(土), 11月8日(金)、  
12月13日(金)、12月21日(土)、1月18日(土)
- ③みどりの少年団 : 10月19日(土) 東浦ブロックが担当
- ④県民セ観察会 : 9月14日(土)「川の生物」、9月21日(土)「海の生物」、  
10月5日(土)「公園の自然」、いずれも場所未定
- ⑤秋の研修旅行 : 8月31日(土)~9月1日(日)「〇〇自然を訪ねて」
- ⑥持ち寄り会 : 1月12日(日)阿久比町中央公民館、午後パソコン研修
- ⑦2014年度総会 : 2014年2月9日(日)

2) 補足説明

- ① 研修担当より……………(榊原靖)
- ② 年報・HP担当より……(榊原正)

○別紙参照

- ・ 行事名の次に、「主催」を記載。
- ・ 同姓の場合は名の一文字を記す。
- ・ 写真は4枚がベスト。(A4一枚で納める形にしてほしい)
- ・ 写真のサイズ(?)
- ・ 写真撮影の確認「ホームページなどに記載してもよいか」をして、了解を得てほしい。
- ・ 報告書をもって参加人数の確認をする。
- ③ 調査担当より……………(浅井一) 須賀川の生物調査→ご協力を  
(-----) 竹の調査は後ほど……………

3) 県協議会事業について…(降幡)

①日本自然保護協会の指導員講習会

今年度は愛知県で開催予定 日時:9月7・8日 場所:犬山ユースホステル  
日程は2日間

②竹の調査 : 県協議会の調査内容等(ホームページで確認)に沿って調査を行う。

- ・ 調査内容が細か過ぎる(地点の経度緯度表示)のでは?(大野)
- ・ マダケの調査はないのか?(大橋)→外来種ということで調査をしている。
- ③あいちの自然観察:知多半島内で今年度の観察会行事項目を当てる(6月23日 常滑市)  
・ 畑の生き物(良い虫悪い虫)について行う。

④持続発展教育(ESD)協賛事業 プレイベント 2013年11月予定

- ・ 啓発と広報を協賛で行う。「あいち自然観察会」で行うので、本会としての実働予定はない。社会学的な先生が中心となって動いている。
- ・ 国際会議もある。かなりの予算が下りているらしい。(鈴木樹:談)

⑤県協議会総会 : 2014年3月21日(金)祝日(来年度)

- ・ なお、本年度の総会は3月20日(水)に名古屋国際センターで開催される。  
○記念公演は金沢至氏(大阪市自然史博物館)「季節的に長距離を移動する昆虫の生活」

(6) 2013 年度 自然観察会活動に係る事業会計 収支予算書(案) (森田琢) <資料-5>  
・出席手当ては、個人銀行口座に振込みで行う。

(7) 会則の改正なし<2012 年度年報 P6 参照>

(8) その他/報告等……(庶務・平田) 太字参照

1) 会員名簿について

2) 観察会時の保険について<資料-6>

①保険の対象となる時間帯は当日の受付時から解散時まで。

②受託/受募の場合は保険加入の有無を委託者に確認する。

③指導員は NACS-J の登録を毎年更新する。

3) 観察会の運営について<資料-7>

①安全を確保するため観察会開始前に「危険な場所の有無、触れてはならない物、危険な行動をしないように」等の注意事項を説明すること。

②保険の確認(受付名簿の作成と委託元へ確認等)

③指導員の役割分担を決めて観察会終了後反省会を行ない、当日の副担当は速やかに報告書を提出する。

④観察会の様子を撮影した写真を当会 HP などに載せる旨説明する。

④観察会に出席する指導員は名札を付ける。…夜でも真冬でも…

⑤一般の参加者を増やすための工夫について(実践例……等)意見交換。

4) 会員の動向(2012 年度)

退会者:天野氏、江尻氏、東(旧姓松野)氏、加川氏、西尾氏、関氏、山本隆氏、柴田氏、岸本氏。

入会者:宮原氏、谷川氏、永田寛氏。

物故者:淵田氏、山田昌氏。

5) その他

○実施計画案(P61)について(榊原正)

・県民セ観察会計画案を参照に、主担当者は観察会を計画してほしい。

○〈指導員の出席回数〉の資料を参照して、自分の参加回数を確認してほしい。

○会員名簿は、総会報告書と同時に改訂版を配付。

○役員会は市町の代表だけでなく、希望者の参加は自由。

○当会場は本会閉会后 13 時まで使用可能。

7. 閉会の言葉……(副代表/年報・HP 担当:榊原正)

本物と向き合って、おしゃべりをする。スライドや写真でなく、本物をねたに観察会を開いていこう。

以上

2013年度 (2013. 4. 1~2014. 3. 31) 会員用事業計画

No	年	月	日	曜	種	保	担	テーマ●印…主催者&申し込み先 (電話番号は欄外を参照)	集合場所	担当指導員(問合せ先)
1	13	4	6	土	受募		東浦	「社寺林を見よう」●東浦町環境課	生路公民館P9:30	田中央(0562-84-6040) 竹内秀
2	13	4	7	日	募集	協保	武豊	「春の野山探検・どんな花どんな虫に 会えるかな」	武豊町別曾池公園P 9:30	鈴木(0569-72-1393)古 川
3	13	4	13	土	打合		支	「役員会-県民センター観察会,会計, 他」	阿久比町中央公民館 13:30	庶務
4	13	4	13	土	受託		知多	「春の野草と虫さんに会いに行こう」● 地域文化センター	知多市地域文化セン ター9:30	霜鳥(0562-55-1620)吉 川勉
5	13	4	14	日	受託		大府	「森の研究室①植物おもしろ講座」● 二ツ池セレクトナ→申込メ切4/7	二ツ池セレクトナ9:30	吉川洋(052-381-4426) 村瀬
6	13	4	14	日	募集	協保	阿久	「植物野鳥虫たちの躍動を感じよう」	阿久比エスペランス丸山 P9:30	牧野(090-1232-9472)平 松裕
7	13	4	20	土	募集	協保	半田	「任坊山の春-虫や野草の観察」	任坊山公園P9:30	榊原正(0569-21-7000) 加藤美
8	13	4	21	日	受募		常滑	「菜の花を訪れる虫たちを観察しよう」 ●大曾公園事務所	常滑市大曾公園P9:30	中井三 (0569-42-2021) 平松俊
9	13	4	27	土	募集	協保	東浦	「竹の芽吹きを観察しよう」(自然環境 学習の森)	東浦自然環境学習の森 P9:30	竹内秀(0562-83-9023) 桑原
10	13	5	11	土	受募		知多	「信濃川の生きものを観察しよう」●梅 の館	知多市梅の館9:30	金内(0562-55-8614)吉 房
11	13	5	12	日	受託		大府	「森の研究室②野鳥のおもしろ生態 I」●二ツ池セレクトナ→申込メ切5/5	二ツ池セレクトナ9:30	大嶋(090-9191-4531)門 脇
12	13	5	18	土	受託		知多	「企業緑地の生きもの」LIXIL知多事業 所[自然調査隊]●知多市環境政策課	LIXIL知多事業所9:30	川端(0569-42-4878)南 川
13	13	5	18	土	受募		東浦	「閃光するヒメボタルに会おう」●東浦 町環境課	東浦町うのはな館P 21:30	田中央(0562-84-6040) 岩本
14	13	5	18	土	募集	協保	半田	「成岩の菓子屋とムクノキと蜜蜂」	成岩公民館9:30	大橋(0569-21-6656)加 藤美
15	13	5	18	土	受募	協保	美浜	「山で発見ヒメボタル」●美浜町環境 保全課	美浜町時志観音P21:30	百合草(0569-82-2354) 岩橋
16	13	5	19	日	受託		大府	「森の研究室③昆虫おもしろ講座 I」 ●二ツ池セレクトナ→申込メ切5/6	二ツ池セレクトナ9:30	吉川洋(052-381-4426) 村瀬
17	13	5	19	日	募集	協保	阿久	「竹林であそぼう」	洋菓子サリユーP9:30	平松裕(090-8071-3954) 榊原正
18	13	5	19	日	募集	協保	武豊	「初夏の草地と水辺探索」	長成池公園P9:30	原(0569-72-2377)皇
19	13	5	25	土	受託		東海	「ヒメボタルを見よう」●東海市施設管 理協会参加費100円	上野台公園P21:30	早川(052-602-2992)岩 崎
20	13	5	25	土	研修		支	「宿泊研修-〇〇自然をたずねて」会 費1~2万円5月中旬メ切	大池公園テニスコートP 7:00	竹内秀・牧野・山田絹・ 浅井一
—	13	5	26	日	研修		支	「宿泊研修-〇〇自然をたずねて」2日 目	帰着時刻未定	竹内秀・牧野・山田絹・ 浅井一
21	13	5	26	日	受託		大府	「春のいきものをさがそう大倉公園」● 大府市環境課	大府市役所9:30	村瀬(0562-48-4031)今 西
22	13	6	1	土	募集	協保	阿久	「春の阿久比板山湿地周辺を観察しよ う」※人数制限有	阿久比ふれあいの森P 9:30	宮内(0569-48-6199)伊 藤祐
23	13	6	2	日	受募		大府	「虫・花・樹をさがそう」●あいち健康の 森公園	あいち健康の森公園管 理事務所9:30	吉川洋(052-381-4426) 村瀬
24	13	6	2	日	募集	協保	常滑	「愛知用水の食虫植物を見よう」	常滑市南陵公民館P 9:30	中井三(0569-42-2021) 斉上
25	13	6	8	土	募集	協保	美浜	「クサフグの集団産卵を見よう」→(予 備日7/6)	聖崎公園P14:45	大矢晃(052-841-6048) 大矢美
26	13	6	9	日	募集	協保	常滑	「海岸の生き物を見つけよう」大潮(干 潮12:28)	鬼崎蒲池港P9:30	森田琢(0569-42-1708) 中井康

27	13	6	14	金	受託	知多	「灯火に集まる虫とヘイケボタルの観察をする」●地域文化センター	知多市旭公園北P場 19:00	平田(0562-55-9696)大川
28	13	6	15	土	打合	支部	「役員会」	阿久比町中央公民館 13:30	庶務
29	13	6	15	土	受募	東浦	「明徳寺川の中をのぞこう」●東浦町環境課	東浦町文化センターP 9:30	田中央(0562-84-6040) 山田公
30	13	6	15	土	募集	武豊	「天然のホタル探索、ホタルに会おう」	町民会館西P19:30	畠(0569-73-3518)畑中
31	13	6	16	日	募集	阿久	「福山川の生き物は今年も元気かな」	阿久比町板山公民館前 9:30	平松裕(090-8071-3954) 浅井一
32	13	6	16	日	研修	支部	「調査活動-東浦-須賀川の生きもの①」	南部ふれあいセンターP 13:30	浅井一(090-3387-8007) 竹内秀
33	13	6	21	金	受募	知多	「佐布里の里山に生育するヘイケボタルの観察をする」●梅の館	知多市梅の館19:00	小島(0569-42-4537)吉房
34	13	6	22	土	受託	知多	「海辺の生きものの観察する」●地域文化センター	新舞子海岸カマボコトイレ 9:30	中井康(0569-43-0884) 平田
35	13	6	23	日	受託	大府	「森の研究室④キノコ探検隊Ⅰ」●二ツ池セレクトナ→申込〆切6/16	二ツ池セレクトナ9:30	村瀬(0562-48-4031)吉川洋
36	13	6	23	日	募集	常滑	「水田と畑の良い虫悪い虫の観察」	常滑市南陵公民館P 9:30	降幡(0569-43-8060)竹内匡
37	13	6	23	日	受募	美浜	「海辺の生き物」(干11:47)●美浜町環境保全課	美浜町富具崎港P9:30	森田博(0569-87-0725) 森田琢
38	13	6	30	日	研修	支部	「調査活動-東浦-須賀川の生きもの②」	南部ふれあいセンターP 9:30	浅井一(090-3387-8007) 竹内秀
39	13	7	5	金	受託	知多	「灯火に集まる虫とナイトハイク」●地域文化センター	知多市旭公園北P場 19:00	小島(0569-42-4537)沖田
40	13	7	6	土	受募	東浦	「初夏の生き物」(自然環境学習の森)●東浦町環境課	東浦自然環境学習の森 P9:30	竹内秀(0562-83-9023) 桑原
41	13	7	6	土	受託	東海	「オオケマイマイを見よう」●東海市施設管理協会参加費100円	しあわせ村玄関前9:30	原(0569-72-2377)吉川洋
予	13	7	6	土	募集	美浜	「クサフグの集団産卵を見よう」(6/8の予備日)	聖崎公園P14:30	大矢晃(052-841-6048) 大矢美
42	13	7	7	日	受募	常滑	「雨上がりのキノコを見つけよう」●大曾公園事務所	常滑市大曾公園P9:30	降幡(0569-43-8060)谷川
43	13	7	7	日	募集	美浜	「藻場の生き物」(干11:29)	聖崎公園P9:30	永田(0569-82-3151)渡辺
44	13	7	7	日	募集	武豊	「新川の生き物の観察・はたして新種は？」	武豊福寿園西方へ500m 新川沿い9:30	原(0569-72-2377)金内
45	13	7	19	金	募集	東浦	「灯火に集まる虫と鳴く虫の音を聞こう」	東浦町高根の森P19:00	春日(0562-84-2086)水野利
46	13	7	20	土	打合	支部	「県民センター観察会の担当者打ち合わせ会」	阿久比町中央公民館 13:30	庶務
47	13	7	20	土	受託	半田	「灯火に集まる虫の観察とナイトハイク」●半田市環境課	雁宿公園P(旧市営プール)19:00	榊原靖(0569-21-3497) 山田和
48	13	7	21	日	受託	大府	「境川の生き物観察と水質調査」●大府市神田公民館・環境課干潮10:56	大府市神田公民館9:30	村瀬(0562-48-4031)門脇
49	13	7	21	日	募集	常滑	「前山川の小さな生き物を見よう」	常滑市青海公民館P 9:30	金内(0562-55-8614)齊上
50	13	7	21	日	受募	美浜	「干潟の生き物」(干10:48)●美浜町環境保全課	美浜町奥田農協P9:30	森田博(0569-87-0725) 森田琢
51	13	7	26	金	受託	大府	「森の研究室⑤灯火に集まる虫」●二ツ池セレクトナ→申込〆切7/20	二ツ池セレクトナ19:30	水野利(052-381-4426) 村瀬
52	13	7	27	土	受託	知多	「日長川の生きものを観察しよう」●地域文化センター	知多市地域文化センター9:30	金内(0562-55-8614)細川
53	13	7	28	日	受募	大府	「虫・花・樹をさがそう」●あいち健康の森公園	あいち健康の森公園管理事務所9:30	吉川洋(052-381-4426) 村瀬
54	13	7	31	水	受託	知多	「企業緑地の生きもの」出光興産(株)愛知製油所●知多市環境政策課	出光興産(株)愛知製油所9:30	南川(0569-42-5382)大野

55	13	8	4	日	受託	大府	「森の研究室⑥昆虫講座Ⅱ」●ニツ池セレクトナ→申込〆切7/29	ニツ池セレクトナ9:30	村瀬(0562-48-4031)吉川洋	
56	13	8	4	日	受託	半田	「神戸川の生き物観察」●半田市環境課	板山公民館P9:30	榑原正(0569-21-7000)榑原靖	
57	13	8	7	水	研修	支部	「アカテガニの放仔とウミホタルの観察」	聖崎公園P18:30	大矢晃(052-841-6048)大矢美	
58	13	8	10	土	打合	支部	「役員会」	阿久比町中央公民館13:30	庶務	
	13	8	10	土	受募	常滑	「灯火に集まる虫の観察と虫の声を聞こう」●大曾公園事務所	常滑市大曾公園P19:00	降幡(0569-43-8060)平松俊	
59	13	8	17	土	募集	協保	阿久	「灯火に集まる虫の観察と虫の声を聞こう」	阿久比町ふれあいの森P19:30	平松裕(090-8071-3954)平松俊
60	13	8	18	日	受託	大府	「夏のいきものをさがそうあいち健康の森公園」●大府市環境課	あいち健康の森公園管理事務所9:30	村瀬(0562-48-4031)今西	
61	13	8	18	日	受託	半田	「矢勝川の生き物観察」●半田市環境課	修農公民館P9:30	榑原靖(0569-21-3497)加藤美	
62	13	8	21	水	打合	支部	「みどりの少年団交歓会－関係者打合せ会」県林務課,東浦町,他関係者	東浦町役場2階第一会議室14:00	岩本(0569-58-0952)	
63	13	8	24	土	打合	支部	「県民センター観察会」川の下見 ※エントリー指導員は出席	うのはな館(東浦町)13:30	岩本	
64	13	8	24	土	募集	協保	東浦	「須賀川の中をのぞこう」	南部ふれあいセンターP9:30	岩本(0569-58-0952)桑原
65	13	8	24	土	受託	東海	「竹を使って遊ぼう」●東海市施設管理協会参加費100円	大池公園多目的室9:30	山本辰(0562-56-3952)平田	
66	13	8	24	土	募集	協保	武豊	「灯火に集まる虫を見よう」	武豊町老人福祉センター前19:30	畠(0569-73-3518)伊藤伸
67	13	8	31	土	研修	支部	「宿泊研修-〇〇自然をたずねて」会費1～2万円8月中旬〆切	大池公園テニスコートP7:00	竹内秀・牧野・山田絹・浅井一	
—	13	9	1	日	研修	支部	「宿泊研修-〇〇自然をたずねて」2日目	帰着時刻未定	竹内秀・牧野・山田絹・浅井一	
68	13	9	7	土	打合	支部	「県民センター観察会」海の下見 ※エントリー指導員は出席	野間公民館P13:30	南川	
69	13	9	7	土	受託	知多	「水田や水路の生きものを観察しよう」●地域文化センター	知多市地域文化センター9:30	大野(0562-34-5046)川端	
70	13	9	7	土	受募	協保	美浜	「布土川の生き物観察」●美浜町環境保全課	美浜町布土公民館P9:30	斉藤(0569-82-3922)榑原靖
71	13	9	14	土	受託	支部	「県民センター観察会」川の本番 ※エントリー指導員は出席	東浦町文化センター8:30	岩本	
72	13	9	14	土	募集	協保	常滑	「灯火の虫とナイトハイクで生き物に出会おう」	常滑市多賀神社P19:00	降幡(0569-43-8060)平松俊
73	13	9	15	日	受託	大府	「石ヶ瀬川の生物水質調査」●大府市環境課・石ヶ瀬コミュ乳ティ	石ヶ瀬児童老人福祉センター9:30	村瀬(0562-48-4031)門脇	
74	13	9	15	日	募集	協保	武豊	「秋の野山探検・どんな実・花・虫に会えるかな」	武豊町別曾池公園P9:30	鈴木(0569-72-1393)畑中
75	13	9	21	土	受託	支部	「県民センター観察会」海の本番 ※エントリー指導員は出席	海岸の空き地8:30	南川	
76	13	9	22	日	打合	支部	「県民センター観察会」公園の下見 ※エントリー指導員は出席	任坊山公園P13:30	榑原正	
77	13	9	28	土	受託	大府	「森の研究室⑦秋の夜の虫たち」●ニツ池セレクトナ→申込〆切9/21	ニツ池セレクトナ17:30	村瀬(0562-48-4031)吉川洋	
78	13	9	28	土	受託	知多	「企業緑地の生きもの」(株)IHI愛知事業所[自然調査隊]●知多市環境政策課	(株)IHI愛知事業所9:30	中井康(0569-43-0884)吉川勉	
79	13	9	28	土	募集	協保	阿久	「秋の阿久比板山湿地を観察しよう」※人数制限有	阿久比ふれあいの森P9:30	宮内(0569-48-6199)澁谷
80	13	9	29	日	受託	大府	「秋のいきものをさがそう大府みどり公園」●大府市環境課	大府みどり公園管理事務所9:30	村瀬(0562-48-4031)今西	
81	13	10	5	土	受託	支部	「県民センター観察会」公園の本番 ※エントリー指導員は出席	任坊山公園P8:30	榑原正	

82	13	10	6	日	受託	大府	「森の研究室⑧キノコ探検隊Ⅱ」●二ツ池セレクトナ→申込〆切9/29	二ツ池セレクトナ9:30	村瀬(0562-48-4031)吉川洋
83	13	10	12	土	打合	支部	「みどりの少年団交歓会一下見」	東浦町文化センター13:30	未定
84	13	10	12	土	受募	東浦	「身近にあるキノコを見つけよう」●東浦町環境課	東浦町高根の森P9:30	山田絹(0562-34-8755)降幡
85	13	10	13	日	受託	大府	「森の研究室⑨どんぐり!」●二ツ池セレクトナ→申込〆切10/6	二ツ池セレクトナ9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
86	13	10	13	日	受募	知多	「木の実、枝、落ち葉を採取して置物づくりをする」●梅の館	知多市梅の館9:30	山本辰(0562-56-3952)山田絹
87	13	10	13	日	受募	常滑	「秋の虫を観察しよう」●大曾公園事務所	常滑市大曾公園P9:30	森田琢(0569-42-1708)平松俊
88	13	10	13	日	受託	東海	「公園のキノコを観察しよう」●東海市施設管理協会参加費100円	大池公園多目的室9:30	降幡(0569-43-8060)吉房
89	13	10	14	祝	募	協保 半田	「任坊山の秋-アサギマダラに会えるかな」	任坊山公園P9:30	大橋(0569-21-6656)加藤美
90	13	10	19	土	受託	支部	「みどりの少年団交歓会一本番」東浦町・指導員18名以上	東浦町文化センター8:30	未定
91	13	10	26	土	受託	知多	「身近にあるキノコを観察しよう」●地域文化センター	知多市旭公園北P場9:30	降幡(0569-43-8060)大川
92	13	10	26	土	募	協保 東浦	「秋の森を探検しよう」	東浦高校正門前9:30	竹内秀(0562-83-9023)岩本
93	13	10	26	土	募集	協保 武豊	「秋の自然公園を訪ね、森の恵みで工作しよう」	武豊町老人福祉センター前9:30	原(0569-72-2377)伊藤伸
94	13	10	27	日	受募	大府	「虫・花・樹をさがそう」●あいち健康の森公園	あいち健康の森公園管理事務所9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
95	13	10	27	日	受託	東海	「森の宝物で工作しよう」●東海市施設管理協会参加費100円	大池公園テニスコート前P	大野(0562-34-5046)早川
96	13	10	27	日	募	協保 半田	「運動公園の秋-秋の草花や昆虫」	半田運動公園第一P9:30	榊原靖(0569-21-3497)山田和
97	13	11	2	土	受募	東浦	「森の宝物で工作」参加費100円●東浦町環境課	於大公園このはな館9:30	山田公(0562-83-3297)田中央
98	13	11	3	日	協力	大府	「セレクトナフェスタ協力」(自然観察ガイドミニツアー)	二ツ池セレクトナ9:30	村瀬(0562-48-4031)吉川洋
99	13	11	8	金	打合	支部	「次年度支部行事計画打合せ」(1回目)	阿久比町中央公民館19:00	庶務
100	13	11	10	日	受託	大府	「森の研究室⑩野鳥の生態Ⅱ」●二ツ池セレクトナ→申込〆切11/3	二ツ池セレクトナ9:30	大嶋(090-9191-4531)門脇
101	13	11	10	日	募集	協保 阿久	「秋の鳥や木の実などを観察しよう」	阿久比ふれあいの森P9:30	牧野(0569-22-7277)山田和
102	13	11	16	土	受託	知多	「企業緑地の生きもの」東邦ガス[自然調査隊]●知多市環境政策課	東邦ガス9:30	沖田(0562-55-7250)山本辰
103	13	11	16	土	募	協保 半田	「雁宿の森で木の実草の実観察」	雁宿公園P9:30	榊原正(0569-21-7000)加藤美
104	13	11	17	日	募集	協保 武豊	「ツグミなど遙か渡ってきた鳥たちを見よう」	野外活動センター前中央道下9:30	古川(0569-73-6078)畠
105	13	11	24	日	受託	大府	「森の研究室⑪小枝でリース」●二ツ池セレクトナ→申込〆切11/17	二ツ池セレクトナ9:30	村瀬(0562-48-4031)今西
106	13	11	24	日	募集	協保 阿久	「リース作りや竹の工作であそぼう」	洋菓子サリユーP9:30	平松裕(090-8071-3954)牧野
107	13	11	30	土	研修	県協	「県協議会の日」(研修観察会)場所東三河	集合場所時間-未定	降幡
108	13	11	30	土	募集	協保 知多	「日長神社の紅葉を愛でよう」	産業道路日長インター東広場p場9:30	細川(0569-43-3670)霜鳥
109	13	12	8	日	受託	大府	「森の研究室⑫野鳥の生態Ⅲ」●二ツ池セレクトナ→申込〆切12/1	二ツ池セレクトナ9:30	大嶋(090-9191-4531)門脇
110	13	12	13	金	打合	支部	「次年度支部行事計画打合せ」(2回目)	阿久比町中央公民館19:00	庶務

111	13	12	14	土	募	協保	半田	「康衛池のカモと阿久比川河口の生き物」	瑞穂記念館P9:30	大橋(0569-21-6656)榊原靖
112	13	12	15	日	受募		常滑	「公園の冬鳥を観察しよう」●大曾公園事務所	常滑市大曾公園P9:30	降幡(0569-43-8060)谷川
113	13	12	21	土	打合		支部	「役員会-総会関係他」	阿久比町中央公民館13:30	庶務
114	14	1	12	日	受託		大府	「森の研究室⑬野鳥の生態Ⅳ」●二ツ池セレクトナ→申込〆切1/5	二ツ池セレクトナ9:30	大嶋(090-9191-4531)今西
115	14	1	12	日	研修		支部	「持ち寄り会発表パソコン研修」	阿久比町中央公民館9:30	榊原靖・榊原正
116	14	1	18	土	打合		支部	「役員会-総会次第・配付資料・役割分担の点検」	阿久比町中央公民館13:30	庶務
117	14	1	25	土	受募		知多	「佐布里池に集まる野鳥を観察をする」●梅の館	知多市梅の館9:30	古川(0569-73-6078)蔦谷
118	14	1	25	土	受託		東海	「身近な野鳥を観察しよう」●東海市施設管理協会参加費100円	大池公園動植物資料館9:30	岩崎(052-601-5504)神野
119	14	1	26	日	募集	協保	阿久	「朽木の虫を観察しよう」	阿久比エスペランス丸山P9:30	平松裕(090-8071-3954)平松俊
120	14	1	26	日	募集	協保	常滑	「冬の鳥を見よう」	常滑市松原公園東P9:00	中井三(0569-42-2021)齊上
121	14	1	26	日	募集	協保	武豊	「ワシタカ類のミサゴやチドリなど海岸の鳥たちを見よう」	名鉄河和口駅前海岸P9:30	古川(0569-73-6078)鈴木
122	14	2	1	土	打合		支部	「総会配布資料の印刷等」	常滑市鬼崎公民館9:30	庶務
123	14	2	1	土	受募		知多	「雑木林の中にある朽木や落ち葉に生活する生きものを観察する」●梅の館	知多市梅の館9:30	神野(0562-34-3964)山田絹
124	14	2	2	日	受託		大府	「森の研究室⑭野鳥の生態Ⅴ」●二ツ池セレクトナ→申込〆切1/26	二ツ池セレクトナ9:30	大嶋(090-9191-4531)門脇
125	14	2	8	土	受託		知多	「冬に長旅してきた身近な野鳥の観察をする」●地域文化センター	知多市地域文化センター9:30	神野(0562-34-3964)蔦谷
126	14	2	9	日	打合		支部	「総会」12時00分まで(エスペランス丸山)	阿久比町勤労福祉センター9:30	庶務全員の出席を
127	14	2	16	日	募	協保	美浜	「岩石や地層の観察と化石探し」	聖崎公園P9:30	河原(0569-82-2307)永田
128	14	2	22	土	募	協保	東浦	「冬の生き物たちに会おう」	東浦町高根の森P9:30	岩本(0569-58-0952)山田公
129	14	2	22	土	受託		半田	「任坊山の冬-朽ち木の中の生き物」●半田市環境課	任坊山公園P9:30	山田和(0569-22-4660)榊原正
130	14	2	23	日	受託		大府	「森の研究室⑮朽木にすむ虫たち」●二ツ池セレクトナ→申込〆切2/16	二ツ池セレクトナ9:30	村瀬(0562-48-4031)吉川洋
131	14	3	9	日	受託		大府	「森の研究室⑯野鳥の生態Ⅵ」●二ツ池セレクトナ→申込〆切3/2	二ツ池セレクトナ9:30	大嶋(090-9191-4531)今西
132	14	3	9	日	受募	協保	美浜	「冬鳥と旅鳥カワウの子育観察」●美浜町環境保全課	美浜町体育館正面玄関9:30	岩井(0569-87-5661)神谷
133	14	3	16	日	受募		常滑	「朽木の生き物を探そう」●大曾公園事務所	常滑市大曾公園P9:30	森田琢(0569-42-1708)小島
134	14	3	21	金	打合	県協		「県協議会総会」支部役員と市町ごとに2名以上の出席を	後日協議会ニュースで連絡	支部の役員は出席を



# ブロック主催観察会

2013. 1. 1～2013. 12. 31

No	年	月	日	曜	ブ ロ ック	テ ー マ	集 合 場 所	担 当
1	13	1	27	日	阿久比	「朽木の虫を観察しよう」	阿久比エスペランス丸山P 9:30	平松裕(090-8071-3954) 平松俊
2	13	4	14	日		「植物野鳥虫たちの躍動を感じよう」	阿久比エスペランス丸山P9:30	牧野(090-1232-9472) 平松裕
3	13	5	19	日		「竹林であそぼう」	洋菓子サリユーP 9:30	平松裕(090-8071-3954) 榊原正
4	13	6	1	土		「春の阿久比板山湿地周辺を観察しよう」	阿久比ふれあいの森P9:30	宮内(0569-48-6199) 伊藤祐
5	13	6	16	日		「福山川の生き物は今年も元気かな」	阿久比町板山公民館前9:30	平松裕(090-8071-3954) 浅井一
6	13	8	17	土		「灯火に集まる虫の観察と虫の声を聞こう」	阿久比町ふれあいの森P19:30	平松裕(090-8071-3954) 平松俊
7	13	9	28	土		「秋の阿久比板山湿地を観察しよう」	阿久比ふれあいの森P9:30	宮内(0569-48-6199) 澁谷
8	13	11	10	日		「秋の鳥や木の実などを観察しよう」	阿久比ふれあいの森P9:30	牧野(0569-22-7277) 山田和
9	13	11	24	日		「リース作りや竹の工作であそぼう」	洋菓子サリユーP 9:30	平松裕(090-8071-3954) 牧野
10	13	1	27	日	常滑	「冬の鳥を見よう」	常滑市松原公園東P 9:00	齊上(090-5037-1991) 森田琢
11	13	6	2	日		「愛知用水の食虫植物を見よう」	常滑市南陵公民館P 9:30	中井三(0569-42-2021) 齊上
12	13	6	9	日		「海岸の生き物を見つけよう」大潮(干潮12:28)	鬼崎蒲池港P9:30	森田琢(0569-42-1708) 中井康
13	13	6	23	日		「水田と畑の良い虫悪い虫の観察」	常滑市南陵公民館P 9:30	降幡(0569-43-8060) 竹内匡
14	13	7	21	日		「前山川の小さな生き物を見よう」	常滑市青海公民館P 9:30	金内(0562-55-8614) 齊上
15	13	9	14	土		「灯火の虫とナイトハイクで生き物に出会おう」	常滑市多賀神社P 19:00	降幡(0569-43-8060) 平松俊
16	13	11	3	日	大府	「セレクトナフェスタ」(自然観察ガイド)	二ツ池セレクトナ9:30	村瀬(0562-48-4031) 吉川洋
17	13	11	30	土	知多	「日長神社の紅葉を愛でよう」	産業道路日長インター東広場p場9:30	細川(0569-43-3670) 霜鳥
18	13	2	23	土	東浦	「冬の生き物たちに会おう」	東浦町高根の森P 9:30	岩本(0569-84-3636) 山田公
19	13	4	27	土		「竹の芽吹きを観察しよう」	東浦自然環境学習の森P9:30	竹内秀(0562-83-9023) 桑原
20	13	7	19	金		「灯火に集まる虫と鳴く虫の音を聞こう」	東浦町高根の森P 19:00	春日(0562-84-2086) 水野利
21	13	8	24	土		「須賀川の中をのぞこう」	南部ふれあいセンターP9:30	岩本(0569-58-0952) 桑原
22	13	10	26	土		「秋の森を探検しよう」	東浦高校正門前9:30	竹内秀(0562-83-9023) 岩本

23	13	2	23	土	半田	「任坊山の冬-朽ち木の中の生き物」	任坊山公園P 9:30	山田和 (0569-22-4660) 榊原正
24	13	4	20	土		「任坊山の春-虫や野草の観察」	任坊山公園P 9:30	榊原正 (0569-21-7000) 加藤美
25	13	5	18	土		「成岩の菓子屋とムクノキと蜜蜂」	成岩公民館9:30	大橋 (0569-21-6656) 加藤美
26	13	10	14	祝		「任坊山の秋-アサギマダラに会えるかな」	任坊山公園P 9:30	大橋 (0569-21-6656) 加藤美
27	13	10	27	日		「運動公園の秋-秋の草花や昆虫」	半田運動公園第一P 9:30	榊原靖 (0569-21-3497) 山田和
28	13	11	16	土		「雁宿の森で木の実草の実観察」	雁宿公園P 9:30	榊原正 (0569-21-7000) 加藤美
29	13	12	14	土		「康衛池のカモと阿久比川河口の生き物」	瑞穂記念館P 9:30	大橋 (0569-21-6656) 榊原靖
30	13	2	17	日	美浜	「地層 岩石 調べ」	聖崎公園P 9:30	河原 (0569-82-2307) 永田
31	13	6	8	土		「クサフグの集団産卵を見よう」	聖崎公園P 14:45	大矢晃 (052-841-6048) 大矢美
32	13	7	7	日		「藻場の生き物」(干11:29)	聖崎公園P 9:30	永田 (0569-82-3151) 渡辺
33	13	1	20	日	武豊	「ミサゴやカモ、チドリなど海鳥を見よう」	名鉄河和口駅前海岸P 9:30	古川 (0569-73-6078) 鈴木
34	13	4	7	日		「春の野山探検・どんな花どんな虫に会えるかな」	武豊町別曾池公園P 9:30	鈴木 (0569-72-1393) 古川
35	13	5	19	日		「初夏の草地と水辺探索」	長成池公園P 9:30	原 (0569-72-2377) 畠
36	13	6	15	土		「天然のホタル探索、ホタルに会おう」	町民会館西P 19:30	畠 (0569-73-3518) 畑中
37	13	7	7	日		「新川の生きもの観察・はたして新種は？」	武豊福寿園西方へ500m新川沿い9:30	原 (0569-72-2377) 金内
38	13	8	24	土		「灯火に集まる虫を見よう」	武豊町老人福祉センター前19:30	畠 (0569-73-3518) 伊藤伸
39	13	9	15	日		「秋の野山探検・どんな実・花・虫に会えるかな」	武豊町別曾池公園P 9:30	鈴木 (0569-72-1393) 畑中
40	13	10	26	土		「秋の自然公園を訪ね、森の恵みで工作しよう」	武豊町老人福祉センター前9:30	原 (0569-72-2377) 伊藤伸
41	13	11	17	日		「ツグミなど遙か渡ってきた鳥たちを見よう」	野外活動センター前中央道下9:30	古川 (0569-73-6078) 畠



【行事名】 竹林であそぼう ●阿久比ブロック主催

【日時】 2013年5月19日(日) 9:30~11:50

【場所】 集合：洋菓子サリュウの北

【天気】 晴れ

【担当】 平松裕 榊原正

【参加者】 大人 1名、子ども 2名  
指導員3名(門脇、榊原正、平松裕)

【内容】

ホントに晴れてくれてよかったです。というのは、今回は観察会のテーマ「竹林であそぼう」に合わせて相当準備したので今まで以上に雨にならないよう祈っていたわけです。3, 4日前の天気予報では日曜日は雨模様…ただだけにホントによかった。それと…子どもの参加があってホントによかった…(^\_^;)

計画では竹やぶの中を歩きながら観察を兼ねた遊びも考えていたわけですが、実際は一ヶ所に準備した“遊び道具”だけで十分満足し終わってしまいました。その証拠というわけではありませんが参加した子は飼育ケースだけでなく昆虫図鑑を持ってくるほどの“虫さん好き”らしい子でありましたが、クワガタの幼虫やベニカミキリを見せてもほとんど見向きもせず、遊びに遊んでいました。

相当な運動量だったので竹林遊びは早めに切り上げ“亀さん”探しや“ささ舟”づくりをして終わりました。子どもたちが「とっても楽しかった」と言ってくれたのでこちらも嬉しかったのです。もっとも、この“あそび”…大人も童心に帰れてとってもいいですよ。ストレス解消にも…。 (記：榊原正)

【観察会の様子】



【左】 始めのお話しのあと、林を抜けて竹林へ→

【右】 準備された遊び道具“竹渡り”。

つえ ちょうせん  
杖を使って挑戦



【左】 小川で亀さん(イシガメ)の観察

【右】 「今日はとっても楽しかった」という感想でした

【行事名】 福山川の生き物は今年も元気かな

● 阿久比ブロック主催

【日時】 2013年6月16日(日) 9:30~11:30

【場所】 阿久比町福山川

【天気】 晴れ時々曇り 気温30℃ 水温25℃

【担当】 平松裕 浅井一

【参加者】 一般：大人 5名、子ども 5名

指導員：浅井一、門脇、金内、森田博、原、榊原正、牧野、大野、宮内、鈴木汎、山

本、平松裕

【内容】

地元の有線テレビ(CAC)局にお越し頂いたので参加者がたくさんみえて魚がいっぱいとれるといいなと思いつつ参加状況を見ていました。案ずるより産むが易しで結果オーライでした。と言うのは、参加者については子どもが5名もいれば大満足ですし、魚とりについては『魚とり御三家』を含む『魚とり5大名人』の全員が参加なのでもう心配はありません。

採集後の獲物の説明会場にはきれいな水にとってきた魚などを入れたミニ水族館があつて、「えっ、こんなにいたの」ってびっくりしながら眺めていました。自分たちでつかまえた魚の水族館は、やっぱり、ちょっといいですね。

【観察した生きもの】

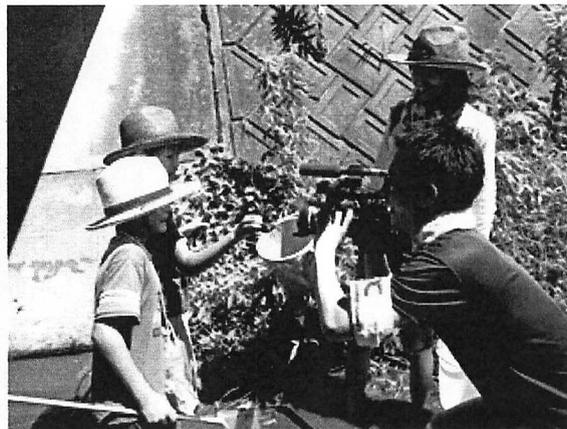
- ・魚…オイカワ、タモロコ、コイ、ドジョウ、メダカ、カマツカ
- ・貝…カワニナ、マシジミ
- ・虫…コオイムシ、アメンボ、スジゲンゴロウ、ヤゴ (ギンヤンマ、シオカラトンボ)
- ・両生類…トノサマガエル、オタマジャクシ (ウシガエル、トノサマガエル)
- ・その他…アメリカザリガニ

以上 (記：浅井一)

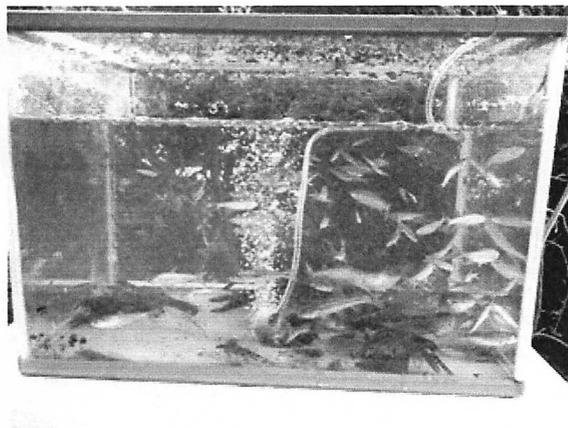
【観察会の様子】



【左】 担当の始めのお話。ことしはどんなお魚とれるかなです



【右】 地元の有線テレビ (CAC) の取材



【左】 つかまえたお魚たちの水族館



【右】 日照りが強かったので玄関前の屋根下を拝借して説明会

【観察会の様子-続き】

【行事名】 リースや竹の工作で遊ぼう

●阿久比ブロック主催

【日時】 2013年11月24日（日） 9：30～12：30

【場所】 洋菓子サリュー東の竹林と雑種地

【天気】 晴れ

【担当】 平松裕、牧野

【参加者】 一般 大人 2名、子ども 3名

（指導員：榊原正、門脇、平松裕）

### 【内容】

小春日和の風のない穏やかな日で、竹林で子どもたちは正躬先生の作った遊具やツタでの遊びに夢中になっていた。

そのため、指導員は頃合いを図って竹林遊びを止めてリースづくりに行きたかったのだが出来なかった。

その上、リースを作った後で、子どもたちが竹のパチンコも作りたいということで竹のパチンコも作り“的あて遊び”もしたので終了が昼過ぎの時間延長になってしまいました。

このようにこの観察会は他の観察会とは違って観察より自然物で遊ぶことを優先した特徴ある観察会として来年もやるつもりです。

（記：平松裕）

### 【観察会の様子】



【左】小春日和の願ってもない天気…始めのお話



【右】竹林内で“竹渡り”



【左】リースづくり…蔓(つる)は竹林内で採集  
って



【右】全員で記念撮影…自作のリースを持って

### 【観察会の様子追加】

【行事名】 愛知用水の食虫植物を見よう

【日時】 2013年6月2日(日) 09:30～11:00

【場所】 集合:常滑市南陵公民館P、観察場所:大谷地区(愛知用水側道)

【天気】 晴れ

【担当】 中井三、森田琢

【参加者】 一般15名(大人8名、子供7名)

(指導員8名:中井三、森田琢、森田博、鈴木汎、大矢晃、古川、永田孝、中井康)

【内容】

天気予報は雨マークでもほんの少し曇り。集合時間になり観察場所へ移動。愛知用水の側道にはいり、そこではナミキソウの花に出合った。

食虫植物のイシモチソウは花の最盛期は過ぎてはいたが、しっかり虫を捕らえているものも多くみられた。

この観察場所はイシモチソウをはじめトウカイコモウセンゴケ、モウセンゴケが一度に観察できる場所です。

花はイシモチソウ、コモウセンゴケは咲いていましたが、モウセンゴケの花は見られませんでした。

カワラナデシコ、オトコヨモギ、アキカラマツ、カワラマツバ、オトギリソウなどは少なくなったと感じた。

側道と用水の間にはu字溝があり、ザリガニ、オタマジャクシ、ヌマガエルなどがいで、子どもたちは夢中になって捕まえていた。

11時過ぎ解散。ワラビをお土産に! (記・中井三)

【観察した生き物】

◎植物

イシモチソウ、モウセンゴケ、コモウセンゴケ、トウカイコモウセンゴケ、イグサ、ゴウソ、ガマ、ヨシ、チガヤ、ヒメジョオン、ミヤコグサ、ヒカゲノカズラ、ノギラン、カキラン、シラン、コケリンドウ、ヒメトクサ、ナミキソウ、ネジキ、オトコヨモギ、テリハノイバラ、チゴユリ、ワレモコウ、ワラビ

◎動物

昆虫:シオカラトンボ、キチョウ、モンシロチョウ、モリチャバネゴキブリ

鳥類(鳴き声):ホトトギス、コジュケイ、ヨシキリ、コチドリ、ホオジロ、ケリ

◎その他

アメリカザリガニ、ハウネンエビ(古川指導員持参)、アマガエル、ヌマガエル

【観察会の様子】



【左】開会(南陵公民館P)

【中】愛知用水側道へ移動

【右】湿地の動植物観察

【行事名】 「公園の冬鳥を観察しよう」 大曾公園事務所主催

【日時】 2013年12月15日(日) 9:30~11:30

【場所】 常滑市大曾公園

【天気】 うす曇

【担当】 降幡・谷川

【参加者】 大人4名 子供1名 会員7名 合計12名

(指導員：榊原正 降幡 浅井一 谷川 森田博 中井三 村山)

【内容】

うす曇の寒い日で、時間になり あいさつと自己紹介をし、公園に移動。ハシブトカラスの声、ヒヨドリが飛び、公園下の池を見下ろす高台に出た。

初心者の参加もあり、双眼鏡の使い方を聞いた。まず、左目で遠くの目的物をとらえ、双眼鏡の中央の目盛りでピントを合わせる。次に右目で目的物を見て双眼鏡の右目元の+〇- (又は数値) でピントをあわせる。例、鳥を見るならばその鳥を裸眼で見ている、双眼鏡のほうを目の位置のもっていく。すぐに鳥や目的物をとらえることが出来るようになった。

桧原から参加した方、今まで庭に来る野鳥を見て楽しんでおられ、この会の参加は初めてとの事でした。

観察途中でイタチに出会い、湧き水の所ではミツバチにも出会った。 まとめの後、カボス、コマツナを土産に 少しはやめの解散 (11時15分) (記・中井三)

【観察した生き物】

◎鳥

ハシブトカラス、ハシボソカラス、ムクドリ、ヒヨドリ、カワラヒワ、メジロ ウグイス (地鳴) セグロセキレイ カイツブリ、マガモ、オオバン、カワウ

◎植物

イチジク、ヒノキ、ネズ、オオバヤシャブシ、ヘクソカズラ、センダン、ツルウメモドキ、ハゼ、ニンドウ、アケビ

◎昆虫

セイヨウミツバチ

【観察会の様子】



【左】 まず、双眼鏡の使い方から



【右】 池に来ている水鳥観察



【行事名】 日長神社の紅葉を愛でよう ● 知多ブロック主催

【日時】 2013年11月30日(土) 9:30~11:30

【場所】 知多市 日長神社

【天気】 晴れ

【担当】 細川、霜鳥

【参加者】 一般：なし

指導員：浅井一、中井康、古川、霜鳥、細川

【内容】

一般の参加者はなく指導員だけでしたが、観察会を開始しました。  
集合場所の近くを流れる水路に生息するアマモは一般的なものと比べて葉の幅が細く珍しいものでした。

日長神社では紅葉がきれいに色づき、秋の日差しに葉を赤に黄色に輝かせていました。  
種は同定できませんでしたが、上下反対に生えているように見える不思議なキノコを見つけました。(記：細川)

【観察したもの】

アマモ、トウネズミモチ、ツルグミ、ナンキンハゼ、オニノゲシ、クロガネモチ、ツワブキ、ヤツデ、ノブドウ、カラスウリ、シイ、シキザクラ、シャシャンボ、センリョウ、クコ、フユイチゴ、カワラタケ、コウヤボウキなど

【活動の様子】



【左】 河口に近い水路に繁茂するアマモ



【右】 公園内の“紅葉谷”は紅葉のピーク



【左】 逆さに生えているように見えるキノコ



【右】 クマバチが越冬している穴

[トップページへ](#)

【行事名】 灯火に集まる虫と鳴く虫の音を聞こう ● 東浦ブロック主催

【日時】 2013年7月19日 19:00-20:30

【場所】 東浦町高根の森

【天気】 晴れ

【担当】 春日 水野利

【参加者】 一般： 6名 (大人 3名, 子供 3名)

(指導員：水野 春日 平松俊 榊原正 榊原靖 桑原 岩本)

【内容】

最近雨が降っていないので、林は乾燥気味でした。期待薄かと思いつつ、虫を探して林の中へ。ニイニイゼミの抜け殻、ニイニイゼミの羽化しようとしている幼虫を見つけながら進んだ。ニイニイゼミの抜け殻は数十センチの高さに本当に多数見られた。アブラゼミの抜け殻はわずかであった。さほど樹液が出ていないように見えるコナラでコクワガタの雄、雌を見つけ、みんなが元気になった。やはり、クワガタやカブトムシがターゲットのようだ。カナブンが多数いるコナラ、羽化直後のニイニイゼミ、羽化直後のニイニイゼミを食べているムカデなどいろいろ見ることができた。そして終わり掛けに、カブトムシが6,7ひきも張り付いている木を見つけた。カブトムシやクワガタが採れて子供達は満足だった。やはり、虫取りは楽しい。

ここでは以前アブラゼミの羽化を良く見た。今年はアブラゼミはわずかだ。減ってしまったのか、羽化が遅れているのか、どちらだろう。灯火採集は駐車場からすこし林に入ったところに準備をしていただいた。ニイニイゼミ、カブトムシ、カミキリムシ、コガネムシやガ仲間を観察することができた。(春日、岩本記)

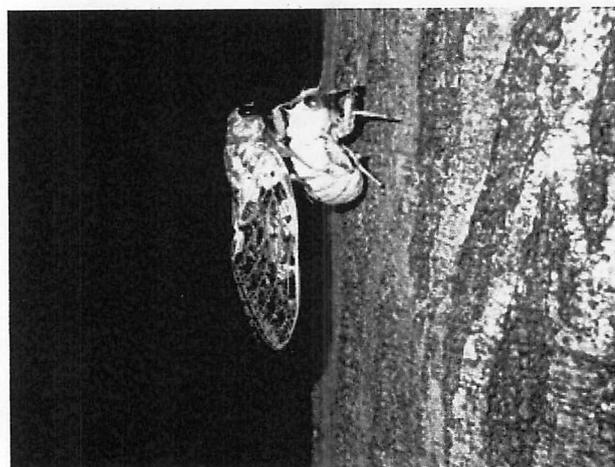
【観察会の様子】



【左】 始めのお話



【右】 すばらしい昆虫大好きファミリー。ナイトハイクの一場面



【左】 ニイニイゼミの羽化



【右】 ナイトハイクを終えてから灯火に集まる虫さんの観察

【観察会の様子-追加】

【行事名】 須賀川の中をのぞこう ●東浦ブロック主催

【日時】 2013年8月24日(土) 9:30～11:00

【場所】 東浦町須賀川 (南部ふれあいセンター北)

【天気】 くもり後晴れ

【担当】 岩本、桑原

【参加者】 一般19名 (大人7名, 子供12名)

(指導員: 吉房 大矢晃 大野 榊原正 浅井一 門脇 桑原 岩本)

【内容】

朝から雨模様で、ひよっとするとできないのではないかと心配したが、雨が上がり、イオンのグループの参加もあってにぎやかだった。前日からの雨の影響がなくて水量は少なかったの  
で、小さなお子さんにも楽しんでもらえた。足で網に追い込むようにするとよく入るよのアド  
バイスにみんなががんばった。

食べごろサイズのウナギに驚き、ぬるぬるのウナギをさわって歓声を上げた。大きめのフナ  
とコイのが採れ、その違いやライギョの模様などいろいろな魚を比べて楽しんだ。フナがたく  
さんいた。(記・岩本)

【観察した生き物】

◎魚

ウナギ、フナ、コイ、タイリクバラタナゴ、ライギョ、カダヤシ、ハゼのなかま

◎その他

おたまじゃくし (ウシガエル) , アメリカザリガニ, ヌマエビ, アメンボ、ハグロトンボ

【観察会の様子】



【左】 集合場所の駐車場で始めのお話

【右】 丸いタモ網は頭をまっすぐにするのを教えてもらう



【左】 さあ、魚とりに挑戦。とれるかな…

【右】 桶の中のウナギつかみ体験…一人ひとり順番で…

【行事名】 任坊山の春-虫や野草の観察 ●半田ブロック主催

【日時】 2013年4月20日(土)

【場所】 任坊山公園

【天気】 晴れ

【担当】 榎原正 加藤美

【参加者】 大人 3名、子ども 2名

指導員5名(牧野、田中和、古川、榎原正、榎原靖)

【内容】

結論から言えば本日の観察会は“たいへんよかった”ことでした。立ち止まりの時間の方が圧倒的に多い“ゆっくり歩きながら…”の観察会はいつも何らかの“よかった”があるのですが本日は“たいへんよかった”のでした。理由は次の点…かな。

- オケラをやさしく握ってオケラの腕力を確かめたこと
- ヨコヅナサシガメが毛虫の体液を吸っているところを観たこと
- 同じくヨコヅナサシガメの脱皮を観たこと
- 見たこともない虫で手持ちの図鑑に載ってなかった虫の種名が観察会中に判ったこと

4点目の図鑑に載ってなかった虫の種名とは「オオワラジカイガラムシ」です。なぜ観察会中に判ったかのお話しは長くなるので省略ですが、帰宅後、ネットでチェックしたらこの虫に関連するページは沢山ありちっとも珍しいモノではなかったようです。

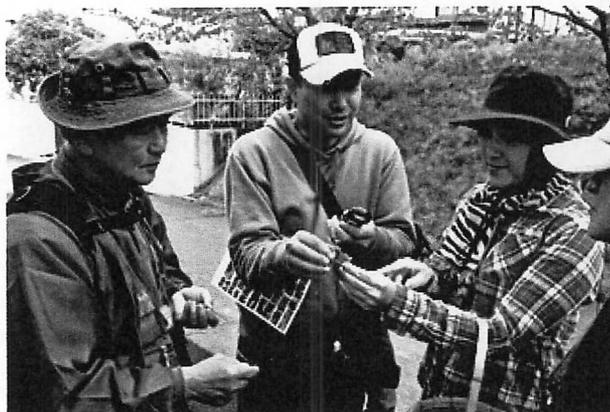
【観察会の様子】



【左】 始めのお話し



【右】 さっそく、男の子がオケラをつかまえた。握ってオケラの腕力を体感した



【左】 キュウリグサの花をルーペでしっかり観る



【右】 ここで正体不明の虫の種名が判って皆さん納得

【観察会の様子-追加】

【行事名】 任坊山の秋-アサギマダラに会えるかな

【日時】 2013年10月14日（月-祝日） 9:30～11:50

【場所】 任坊山公園

【天気】 晴れ

【担当】 大橋、加藤美

【参加者】 一般： 大人2名 子ども2名

指導員： 大橋、加藤美、榎原正、榎原靖、古川、牧野

【内容】

担当の始めのお話で「アサギマダラに会えるか会えないか五分五分ですね…」と言うことでした。

結論から言えば会えました。駐車場周りを一周して公園に入って間もなくのトイレの付近の道で会い、その後、公園を一周して帰ってきたときに会い、そのときは一匹つかまえ、しっかり観察できました。

しっかり観察できたというのは、つかまえたアサギマダラを見て「メス（♀）だね…」と指導員が言うので「オス（♂）とどこが違うの」と言うことになり、それを子どもが確認することができたからです。偶然、リーフレットのアサギマダラがオス（♂）だったので、それと比べることができたと言うわけです。

いつものように色々なことをやりながらの観察会でしたが、スダジイの実を幾つか食べましたが、今年はいつもよりおいしかったけど気のせいかしら…。

また、確か一週間前には人通りの多い場所にあったスズメバチの巣の木が伐採されていた。半田市の公園担当の素早い処置に感謝です。幼稚園や小学校はまだこの時期は遠足時期ですから…。以上（記：榎原正）

【観察会の様子】



【左】 きょうはホタルガがたくさんいてつかまえてにおいを嗅いだ…臭わなかった 【右】 幼虫をスマホでチェック



【左】 林の中で栗拾い…小さい型ばかりだったけど… 【右】 つかまえたアサギマダラとリーフレットのものと比較

<参照>使用したアサギマダラのリーフレット→ここ (pdfファイル) ←クリック

**【行事名】 「地層 岩石 調べ」 ●美浜ブロック主催**

**【日時】** 2013年2月17日(日) 9:30~11:30

**【場所】** 南知多町片名蛭子

**【天気】** 晴れ

**【担当】** 河原、永田

**【参加者】** 一般17名(大人8名 子供9名) 講師として4名(木下、鈴木、日々野、中根先生)

(指導員:河原、永田孝、永田寛、平田、桑原、降幡)

**【内容】**

昨年は崖の状態が危険で化石採集を見合わせた観察会でした。そのようなことから今年は観察会のタイトルから「化石探し」を抜いたところ、参加者が激減しました。しかし長年続けていることから「化石」の二文字が無くても、リピーターのみなさんは来ていただけるもので、何とか観察会の体をなすことができました。河原先生による海食崖の地層の説明からはじまり、みんなで化石採集に熱中しました。いつものように木下先生をはじめ化石に詳しい先生方の丁寧な説明に、参加されたみなさんは満足していただけたものと思います。一つの化石が子供たちの自然に対する興味・関心の入り口となることを願って、来年も続けて行きたいと思っています。(記・永田孝)

**【観察した生き物】**

◎植物

ハマダイコン、ハマウド、ノボロギク(外来)、フラサバソウ(外来)、アナアオサ、カヤモノリなど

◎化石

キララガイ、マレティア、スナモグリ、タマガイ、ウニなど

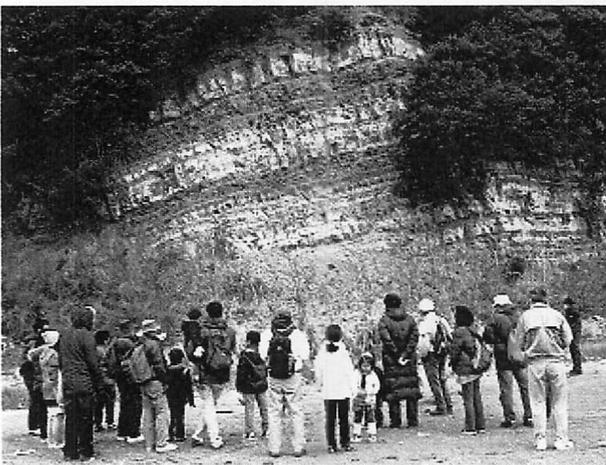
**【観察会の様子】**



**【左】** 長谷崎の駐車場で開会式



**【右】** 現地に移動



**【左】** 地層の説明



**【右】** 断層の説明

**【観察会続き】**

**【行事名】** 藻場の生き物 ●美浜ブロック主催  
日本福祉大学生涯学習センター総合講座

**【日時】** 2013年7月7日(日) 9:30~11:30

**【場所】** 南知多町長谷崎海岸

**【天気】** 晴れ

**【担当】** 永田 渡辺

**【参加者】** 一般 大人19名 子ども2名 に加えて(日本福祉大学申込み分39名)

(指導員: 永田孝, 渡辺, 岩橋, 中井康, 門脇, 森田博)

**【内容】**

今年も日本福祉大学の講座と併せて開催しました。また今年は、研修として県立高校の生物の先生たちにも参加してもらいましたので、全体として70名近くの参加者がある盛大な観察会となりました。とても暑い日となって指導員もバテ気味でしたが、参加された家族は熱心に協力して生き物を探し、本当に楽しそうにされていました。最後に行った“分かち合い”でも、最後まで興味深そうに説明を聞かれている人が多く、参加者に元気づけられた観察会でした。(永田孝 記)

**【観察した生き物】**

◎魚類

クサフグ、アミメハギ、タケノコメバル、キヌカジカ、ナベカ、アカオビシマハゼ、ヒメハゼ、ヨウジウオ

◎甲殻類

ヒライソガニ、オオギガニ、タイワンガザミ、ガザミ、イソカニダマシ、ユビナガホンヤドカリ、ヨコバサミ、イワフジツボ、スジエビ、オオワレカラ

◎軟体動物

イボニシ、スガイ、ナミマガシワ、アカニシ、オオヘビガイ、キクノハナガイ、ヒメイカ、ヒザラガイ、ツメタガイ、マダラウミウシ、ウミナメクジ、ウミウシの仲間の卵塊、マガキ

◎その他

シロボヤ、ヨロイイソギンチャク、タテジマイソギンチャク、タマシキゴカイの卵、クロイソカイメン、ミズクラゲ、ムラサキウニ、サンショウウニ、モミジガイ

◎海藻・草

アナアオサ、ミル、ヒジキ、キョウノヒモ、アマモ、コアマモ

**【観察会の様子】**



【左】 まず藻場について説明をしました



【右】 みんなで生き物を探しました



【左】 昨日産卵に来たクサフグでしょうか



【右】 生き物を集めて分かち合いをしました

【行事名】 ミサゴやカモ、チドリなど海鳥を見よう

●武豊ブロック主催

【日時】 2013年1月20日(日) 9:30~11:30

【場所】 美浜町名鉄河和口駅前海岸

【天気】 晴れ

【担当】 古川、鈴木

【参加者】 一般 11名(大人6名、子供5名)

(指導員：古川、鈴木、畠、畑中、森田博、牧野、降幡)

【内容】

晴れではあるが冷たい風がヒューヒューと、この時期らしい寒い日となった。マフラー手袋、厚地の上着を着込んでの観察会となった。

海岸線が丁度弧を描いているところの海面を見ると、カモがいっぱい集まっている。皆サツと双眼鏡で見る。ヒドリガモとスズガモだ。

「ヒドリガモは潜らなくて、海面近くの海藻等を食べる。ピューピューと鳴く。スズガモは潜って貝などを取って食べる」と古川指導員の解説。

沖で漁船が網を引いているらしい。その漁船の後ろをおびたしい数のオオセグロカモメが、長い带状となって飛び交いながらついでついでに飛んでいる。

今度は陸側の山の上を旋回している鳥が・・・「ノスリです」と指導員の声。

海に伸びた消波ブロックの突堤。一番高い尖ったところにイソヒヨドリが・・・一斉にレンズを向ける。「きれい、きれい」と感嘆の声。波打ち際の小石混じりのところにシロチドリが静かに羽根を休めている。

護岸堤の内側、灌木の間にメジロが戯れていて、ジョウビタキも現れた。

後半、小さいお子さん達は砂浜に下りて貝を拾いながら進んだ。布土川河口の先、角だて網の沖にカワアイサを見て折り返した。

一昨年より昨年、昨年より今年と年々種類と数が減っているようである。

藻は今年も打ち上げられていなかった。鳥の名の分かち合いを行って 11時40分解散。(記・畠)

【観察した生き物】

◎植物

マサキ

◎鳥

ヒドリガモ、スズガモ、ホオジロガモ、トビ、シジュウカラ、カワウ、ジョウビタキ、セグロセキレイ、ハクセキレイ、ムクドリ、ハシボソカラス、ハシブトカラス、ヒヨドリ、メジロ、ツグミ、イソシギ、シロチドリ、オオセグロカモメ、セグロカモメ、オカヨシガモ、カンムリカイツブリ、カワアイサ、イソヒヨドリ、ホオジロ、アオサギ、ミサゴ、ノスリ、スズメ、ムクドリ、コサギ 以上30種

◎その他

ヒヨドリの糞、ハゼの種子

【観察会の様子】



【左】 今日の見どころ、説明



【右】 布土川まで観察しながら移動

【行事名】 新川の生きもの観察・はたして新種は？

●武豊ブロック主催

協力：武豊町環境課

【日時】 2013年7月 7日（日）9：30～11：10

【場所】 武豊町 新川（中流域）

【天気】 快晴・酷暑

【担当】 原、金内

【参加者】 一般 14人（大人5人 子ども9人） 他に町環境課4人

指導員 原、金内、榊原正、畑中、伊藤伸、浅井一、大野、畠

【内容】

今日にも梅雨明け宣言か！と。雲ひとつなく、カーッと照りつける太陽の下のまさに猛暑日の観察会となった。

日影が全くない会場。急きょ、観察会のメンバーが橋の上にビニールシートでテントを作り、休憩所を設えた。さすが日さえなければ川の上は風が通り涼しい。

川の中は例年通り川幅いっぱい「オオフサモ」が群生し、流れが50センチメートル程になっていた所を、本日の観察会の前に、町環境課の方が2メートル程に広げる作業をしてくださっていて、即開始ができた。

「ドジョウの小さいのがいた」「小さなお魚が入った」「貝もいた」と子どもやお母さん方が大はりきり。水の中といえども気温は35度Cを越え暑い、暑い。

日射病は少し怖すぎるので、時間を早めて10時30分に岸辺に上がり、採集物の確認・説明を行う。川の汚れは無いと言えるほどの川であることから、捕れた魚や二枚貝、巻貝、トンボの幼虫など多彩。子どもたちは一様に「川に入っておもしろかった」との感想。

まずまず満足の観察会であった。

（記：原）

【観察した動植物】

<魚など>カダヤシ、カマツカ、ブラックバス、ウキゴリ、ヤリタナゴ、ドジョウ、ヨシノボリ、トノサマガエル（オス）、エビカニ ヌマエビ、テナガエビ、モクズガニ、アメリカザリガニ

<昆虫>ハダゲトンボ（ヤゴも）、シオカラトンボ、ギンヤンマ（やご）、コオイムシ（♂♀）・・・水生昆虫、アメンボ

<貝類>イシガイ、マツカサガイ、マルタニシ、カワニナ、マシジミ

<その他>トノサマガエル

以上

【観察会の様子】



【左】担当からの始めのお話。日差しが強いので急患用の日陰で…

【右】おなじみのスナップ親子で頑張る



【左】貝もいろいろ採れました

【右】みんなでつかまえたものを一つずつ説明しました

【行事名】 灯火に集まる虫を見よう

●武豊ブロック主催

【日時】 2013年8月24日(土) 19:30~21:00  
【場所】 武豊町 老人福祉センター前(武豊町自然公園入り口)  
【天気】 曇り  
【担当】 畠、伊藤伸  
【参加者】 一般 一般 19人(大人8人 子ども11人)  
指導員 平松俊、鈴木樹、榊原正、畑中、伊藤伸、古川、畠

### 【内容】

「日照り続きで一雨欲しい」と切実な願いの時ではあったが、よりによって観察会の今日が雨。しかし夕方には“いつ降ってくるか”と気のもめるような雲行きではあったが、一応雨は上がって実施となりました。

19時、夜間採集セットの設置を終わって点灯。さっそくコガネムシ類、小さい蛾の類が集まって来ました。参加者も車で次々にやって来て賑やかになりました。

19時半、開始の挨拶と注意事項を伝え、まずは自然公園ナイトハイクに出発。木にいる虫を探しながら展望広場へ。途中で全員がライトを消して、周りが何も見えない“森のまっ暗闇”を体験。その不気味さに皆さん一瞬シーンとしてしまいました。

展望広場では秋の虫達が盛んに鳴いていたし、カマキリやコクワガタも見つかりました。展望台に上がってみたら、常滑の花火、四日市の花火、中部空港を離着陸する飛行機の光が見え、楽しみました。

一周して戻ってみると、灯火に集まった虫達、居るは、居るは、白いスクリーンいっぱいにびっしり。みどり色が鈍く光るアオドウガネ、大型の蛾シンジュサン、小型のメイガ、シャクガ、ほかにヒメバチ、カメムシなどなど。解説をしながらそれらをじっくり観察しました。

こんなにも多くの虫達が、私達の周りで一緒に暮らしていることに改めて感心しました。

解散後、希望者にクロマドホテルを見てもらおうと、生息地を通って帰るルートを行いました。が、今年はなぜか見当たりませんでした。

(記： 畠 )

### 【観察できた虫たち】

<ナイトハイクで気づいた虫>

コクワガタ、カブトムシ、アオドウガネ、ユミアシゴミムシダマシ、セアカヒラ、タゴミムシ、シンジュサン、トビイロトラガ、フタトガリコヤガ

ショウリョウバッタ、ヤブキリ、ウマオイ、クツワムシ、マツムシ、カネタタキ、アオマツムシ、カンタン、ハラビロカマキリ、アブラゼミ、ツクツクボウシ、コオロギ(エンマ、ツツレサセ、オカメ、ミツカド) ウスバカゲロウ

<灯火に集まった虫>

アオドウガネ、ヒメコガネ、ヒメカメノコテントウ、ツヤアオカメムシ、セアカヒラタゴミムシ、ムラサキオオゴミムシ、ミナミアオカメムシ、チャバネアオカメムシ、ケシキスイ類、ツチカメムシ類、ナガカメムシ類、イボバッタ

キイロスズメ、ゴマフボクトウ、メイガ類、シャクガ類、ヤガ類など多種類

ツマグロヨコバイ他ヨコバイ類、ウンカ類、ゲンバイウンカ類、ヒメバチ類、コマユバチ類、ハエ類、ガガンボ類、ユスリカ類、ゴモクムシ類、ハネカクシ類、クサカゲロウ類

### 【観察会の様子】



【左】受付時刻は、もう、すっかり暗い



【右】ナイトハイキングの一場面

受託観察会-I (前年度中に契約し新年度の年間計画に記載された観察会)

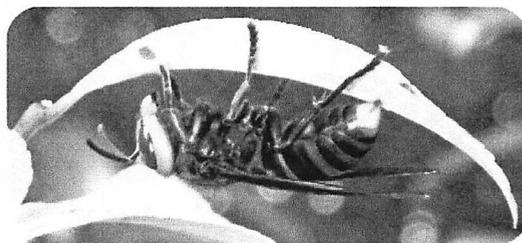
テーマ欄の●印…主催者名

2013. 1. 1~2013. 12. 31

No	年	月	日	曜	ブロック	テーマ	集合場所	担当
1	13	9	14	土	支部	「県民センター観察会」 東浦- 明德寺川	東浦町文化センター	岩本
2	13	9	21	土		「県民センター観察会」 美浜- 野間海岸	海岸の空き地8:30	南川
3	13	10	5	土		「県民センター観察会」 半田- 任坊山公園	任坊山公園 P 8:30	榊原正
4	13	10	19	土		「みどりの少年団交歓会」 東 浦-於大公園	於大公園 P 8:30	岩本
5	13	3	10	日	常滑	「朽木の生き物を探そう」 ●大 曾公園事務所	常滑市大曾公園 P 9:30	降幡(0569-43- 8060)水野由
6	13	4	21	日		「菜の花を訪れる虫たちを観察 しよう」 ●大曾公園事務所	常滑市大曾公園 P 9:30	中井三 (0569-42- 2021) 平松俊
7	13	7	7	日		「雨上がりのキノコを見つけよ う」 ●大曾公園事務所	常滑市大曾公園 P 9:30	降幡(0569-43- 8060)谷川
8	13	8	10	土		「灯火に集まる虫の観察と虫の 声を聞こう」 ●大曾公園事務所	常滑市大曾公園 P 19:00	降幡(0569-43- 8060)平松俊
9	13	10	13	日		「秋の虫を観察しよう」 ●大曾 公園事務所	常滑市大曾公園 P 9:30	森田琢(0569-42- 1708)平松俊
10	13	12	15	日		「公園の冬鳥を観察しよう」 ● 大曾公園事務所	常滑市大曾公園 P 9:30	降幡(0569-43- 8060)谷川
11	13	1	13	日	大	「⑩野鳥のおもしろ生態Ⅲ」 ● 二ツ池セレクトナ	二ツ池セレクトナ 9:30	大嶋(090-9191- 4531)今西
12	13	2	3	日		「⑪野鳥のおもしろ生態Ⅳ」 ● 二ツ池セレクトナ	二ツ池セレクトナ 9:30	大嶋(090-9191- 4531)門脇
13	13	2	24	日		「⑫朽木にすむ虫たち」 ●二ツ 池セレクトナ	二ツ池セレクトナ 9:30	村瀬(0562-48- 4031)吉川洋
14	13	3	3	日		「⑬野鳥のおもしろ生態Ⅴ」 ● 二ツ池セレクトナ	二ツ池セレクトナ 9:30	大嶋(090-9191- 4531)今西
15	13	4	14	日		「森の研究室①植物おもしろ講 座」 ●二ツ池セレクトナ	二ツ池セレクトナ 9:30	吉川洋(052-381- 4426)村瀬
16	13	5	12	日		「森の研究室②野鳥のおもしろ 生態Ⅰ」 ●二ツ池セレクトナ	二ツ池セレクトナ 9:30	大嶋(090-9191- 4531)門脇
17	13	5	19	日		「森の研究室③昆虫おもしろ講 座Ⅰ」 ●二ツ池セレクトナ	二ツ池セレクトナ 9:30	吉川洋 (052-381- 4426) 村瀬
18	13	5	26	日		「春のいきものをさがそう大倉 公園」 ●大府市環境課	大府市役所9:30	村瀬(0562-48- 4031)今西
19	13	6	2	日		「虫・花・樹をさがそう」 ●あ いち健康の森公園	あいち健康の森公 園管理事務所9:30	吉川洋(052-381- 4426)村瀬
20	13	6	23	日		「森の研究室④キノコ探検隊 Ⅰ」 ●二ツ池セレクトナ	二ツ池セレクトナ 9:30	村瀬(0562-48- 4031)吉川洋
21	13	7	21	日		「境川の生き物と水質調査」 ● 大府市神田公民館・環境課	大府市神田公民館 9:30	村瀬(0562-48- 4031)門脇
22	13	7	26	金		「森の研究室⑤灯火に集まる 虫」 ●二ツ池セレクトナ	二ツ池セレクトナ 19:30	水野利(052-381- 4426)村瀬
23	13	7	28	日		「虫・花・樹をさがそう」 ●あ いち健康の森公園	あいち健康の森公 園管理事務所9:30	吉川洋(052-381- 4426)村瀬
24	13	8	4	日		「森の研究室⑥昆虫講座Ⅱ」 ● 二ツ池セレクトナ	二ツ池セレクトナ 9:30	村瀬(0562-48- 4031)吉川洋

25	13	8	18	日	府	「夏のいきもの-あいち健康の森公園」●大府市環境課	あいち健康の森公園管理事務所9:30	村瀬(0562-48-4031)今西
26	13	9	15	日		「石ヶ瀬川の生物水質調査」●大府市環境課	石ヶ瀬児童老人福祉センター9:30	村瀬(0562-48-4031)門脇
27	13	9	28	土		「森の研究室⑦秋の夜の虫たち」●二ツ池セレクトナ	二ツ池セレクトナ17:30	村瀬(0562-48-4031)吉川洋
28	13	9	29	日		「秋のいきものをさがそう大府みどり公園」●大府市環境課	大府みどり公園管理事務所9:30	村瀬(0562-48-4031)今西
29	13	10	6	日		「森の研究室⑧キノコ探検隊Ⅱ」●二ツ池セレクトナ	二ツ池セレクトナ9:30	村瀬(0562-48-4031)吉川洋
30	13	10	13	日		「森の研究室⑨どんぐり！」●二ツ池セレクトナ	二ツ池セレクトナ9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
31	13	10	27	日		「虫・花・樹をさがそう」●あいち健康の森公園	あいち健康の森公園管理事務所9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
32	13	11	10	日		「森の研究室⑩野鳥の生態Ⅱ」●二ツ池セレクトナ	二ツ池セレクトナ9:30	大嶋(090-9191-4531)門脇
33	13	11	24	日		「森の研究室⑪小枝でリース」●二ツ池セレクトナ	二ツ池セレクトナ9:30	村瀬(0562-48-4031)今西
34	13	12	8	日		「森の研究室⑫野鳥の生態Ⅲ」●二ツ池セレクトナ	二ツ池セレクトナ9:30	大嶋(090-9191-4531)門脇
35	13	1	12	土	知多	「冬に長旅して来た野鳥」●梅の館	知多市梅の館9:30	山田絹(0562-34-8755)神野
36	13	2	9	土		「冬に長旅して来た野鳥」●地域文化センター	知多地域文化センター9:30	高橋変更(0569-43-0857)沖田
37	13	4	13	土		「春の野草と虫さんに会いに行こう」●地域文化センター	知多市地域文化センター9:30	霜鳥(0562-55-1620)吉川勉
38	13	5	11	土		「信濃川の生きものを観察しよう」●梅の館	知多市梅の館9:30	金内(0562-55-8614)吉房
39	13	5	18	土		「企業緑地の生きもの」LIXIL知多事業所 ●知多市環境政策課	LIXIL知多事業所9:30	川端(0569-42-4878)南川
40	13	6	14	金		「灯火に集まる虫とヘイケボタル」●地域文化センター	知多市旭公園北P場19:00	平田(0562-55-9696)大川
41	13	6	21	金		「佐布里の里山-イケボタルの観察」●梅の館	知多市梅の館19:00	小島(0569-42-4537)吉房
42	13	6	22	土		「海辺の生きものの観察する」●地域文化センター	新舞子海岸カマボコトイレ9:30	中井康(0569-43-0884)平田
43	13	7	5	金		「灯火に集まる虫とナイトハイク」●地域文化センター	知多市旭公園北P場19:00	小島(0569-42-4537)沖田
44	13	7	27	土		「日長川の生きものを観察しよう」●地域文化センター	知多市地域文化センター9:30	金内(0562-55-8614)細川
45	13	7	31	水		「企業緑地の生きもの」出光興産(株)●知多市環境政策課	出光興産(株)愛知製油所9:30	南川(0569-42-5382)大野
46	13	9	7	土		「水田や水路の生きものを観察しよう」●地域文化センター	知多市地域文化センター9:30	大野(0562-34-5046)川端
47	13	9	28	土		「企業緑地の生きもの」(株)IHI愛知事業所●知多市環境政策課	(株)IHI愛知事業所9:30	中井康(0569-43-0884)吉川勉
48	13	10	13	日		「木の実、枝を採取して置物づくりをする」●梅の館	知多市梅の館9:30	山本辰(0562-56-3952)山田絹
49	13	10	26	土		「身近にあるキノコを観察しよう」●地域文化センター	知多市旭公園北P場9:30	降幡(0569-43-8060)大川
50	13	11	16	土		「企業緑地の生きもの」東邦ガス ●知多市環境政策課	東邦ガス9:30	沖田(0562-55-7250)山本辰

51	13	4	6	土	東浦	「社寺林を見よう」●東浦町環境課	生路公民館 P9:30	田中央(0562-84-6040)竹内秀
52	13	5	18	土		「閃光するヒメボタルに会おう」●東浦町環境課	東浦町うのはな館 P21:30	田中央(0562-84-6040)岩本
53	13	6	15	土		「明德寺川の中をのぞこう」●東浦町環境課	東浦町文化センター P9:30	田中央(0562-84-6040)山田公
54	13	7	6	土		「初夏の生き物」(自然環境学習の森)●東浦町環境課	東浦自然環境学習の森 P9:30	竹内秀(0562-83-9023)桑原
55	13	10	12	土		「身近にあるキノコを見つけよう」●東浦町環境課	東浦町高根の森 P9:30	山田絹(0562-34-8755)降幡
56	13	11	2	土		「森の宝物で工作」参加費100円●東浦町環境課	於大公園このはな館9:30	山田公(0562-83-3297)田中央
57	13	1	13	日	東海	「身近な野鳥を観察しよう」●東海市施設管理協会	しあわせ村玄関前 9:30	岩崎(052-601-5504)神野
58	13	2	9	土		「朽木に住む虫の観察」●東海市施設管理協会	大池公園テニスコート前 9:30	吉村(0562-32-3760)吉田
59	13	5	25	土		「ヒメボタルを見よう」●東海市施設管理協会, 参加費100円	上野台公園 P21:30	早川(052-602-2992)岩崎
60	13	7	6	土		「オオクマイマイを見よう」●東海市施設管理協会, 参加費100円	しあわせ村玄関前 9:30	原(0569-72-2377)吉川洋
61	13	8	24	土		「竹を使って遊ぼう」●東海市施設管理協会, 参加費100円	大池公園多目的室 9:30	山本辰(0562-56-3952)平田
62	13	10	13	日		「公園のキノコ」●東海市施設管理協会, 参加費100円	大池公園多目的室 9:30	降幡(0569-43-8060)吉房
63	13	10	27	日	「森の宝物で工作」●東海市施設管理協会参加費100円	大池公園テニスコート前 P	大野(0562-34-5046)早川	
64	13	7	20	土	半田	「灯火に集まる虫の観察とナイトハイク」●半田市環境課	雁宿公園 P(旧市営プール)19:00	榊原靖(0569-21-3497)山田和
65	13	8	4	日		「神戸川の生き物観察」●半田市環境課	板山公民館 P9:30	榊原正(0569-21-7000)榊原靖
66	13	8	18	日		「矢勝川の生き物観察」●半田市環境課	修農公民館 P9:30	榊原靖(0569-21-3497)加藤美
67	13	2	24	日	美浜	「冬鳥と旅鳥 カワウの子育観察」●美浜町環境保全課	美浜町体育館正面玄関 9:30	岩井(0569-87-5661)神谷
68	13	5	18	土		「山で発見ヒメボタル」●美浜町環境保全課	美浜町時志観音 P21:30	百合草(0569-82-2354)岩橋
69	13	6	23	日		「海辺の生き物」(干11:47)●美浜町環境保全課	美浜町富具崎港 P9:30	森田博(0569-87-0725)森田琢
70	13	7	21	日		「干潟の生き物」(干10:48)●美浜町環境保全課	美浜町奥田農協 P9:30	森田博(0569-87-0725)森田琢
71	13	9	7	土		「布土川の生き物観察」●美浜町環境保全課	美浜町布土公民館 P9:30	斉藤(0569-82-3922)榊原靖



【行事名】 「川の生き物を観察しよう」 ”身近な生き物たんけんたい”  
愛知県知多県民センター主催

【日時】 2013年9月14日(土) 9:30~11:30

【場所】 東浦町文化センター北 明徳寺川

【天気】 くもり時々晴れ

【担当】 岩本

【参加者】 一般54名(大人20名、子供34名)

(指導員17名: 田中央、吉房、大野、平田、大矢晃、金内、浅井一、南川、中井三、竹内秀、榊原正、山田公、畠、門脇、山本、降幡、岩本)

【内容】

東浦町の明徳寺川で川の生き物を観察し、自然に接することの楽しさと自然の大切さ、さまざまな生き物が生息していることを感じていただくための観察会です。9:30開会、10時~11:15観察会、アンケートをかいいていただき、11:30には終了しました。

6班が2班ずつ組み、3箇所から長い脚立を使って川に下りた。遠い箇所でも10時には川に入ることができた。採取できた生き物の種類は多いとは言えないが、自分でエビを採ったり、川の水の中で遊ぶのは実に楽しそうであった。たもの扱いはやっているうちに、大人も子供も少しずつうまくなっていった。アンケートの内容から、楽しんでもらえたことがうかがわれ、ほっとした。

改良点としてあげられたのは、大人にもタモを配布し楽しんでもらったら、川の中でバケツはじゃまになるので数を減らしたら、手足を洗えるように手配できないか、時期を変えたら採取できる生き物どう違うか、ほかに多数で入れる川はあるだろうか、など。(記・岩本)

【観察した生き物】

◎魚

ウナギ、コイ、カマツカ、ブルーギル、ウキゴリ、ヌマチチブ、ドジョウ、カダヤシ、

◎エビ・カニ

ミゾレヌマエビ、テナガエビ、アメリカザリガニ、モクズガニ

◎昆虫

アメンボ、シオカラトンボ(やご)

◎植物

クズ、ジュズダマ、ツユクサ、アレチウリ

◎その他

ダルマガエル、ヌマガエル、ウシガエル(おたまじゃくし)、ミシシッピーアカミミガメ

【観察会の様子】



【左】生き物が見つかりそうな場所へ



【右】草陰に隠れていそうです



【左】足を使って魚を追い出し



【右】手を使って魚を追い出し

【行事名】 「海の生き物を観察しよう」 ”身近な生き物たんけんたい”  
愛知県知多県民センター主催

【日時】 2013年9月21日(土) 9:30~12:00

【場所】 美浜町宇若松海岸

【天気】 晴れ

【担当】 南川

【参加者】 53名 大人19名(男性7名・女性12名) 子供34名(男子16名・女子18名)

【指導員】 降幡・山本辰・森田博・森田琢・畠・桑原・岩本・中井(康)・大野・平田・門脇・竹内秀・山田絹・榊原正・大矢晃・中井三・浅井一・吉房・南川 以上19名

【内容】

秋の晴天に恵まれ、参加者も指導員も笑顔で集合。自然観察会の旗幟が立つテントで受付、参加者は海を見ながら開会式すまして、海の観察の楽しみ方についての説明があり、今から海面の状況が変わる潮の引き方、観察場所のポイント、今回の観察場所で想定される危険な生き物等の説明があり参加者は興味深く、かつ熱心に聞かれた後、6班に分かれて各班の指導員と連れ立ち観察が始まった。潮が下がるにつれて変化する砂浜と河口、テトラの堤防の中や石に付着している生物等を観察した。分ち合いでは採集した生物をグループ毎に丁寧に説明されていて参加者も熱心に聞き込んで視得た。

今回は比較的、新しい死んだアカエイの尻尾の毒棘をじっくりと観察もできた。\* (死んでいても刺傷するので注意が必要)

最後に今回の観察場所は季節的や海岸地層等で生物の観察と採集種類が期待されなかったが想像以上の観察成果と体験ができた。(記・南川)

【観察した生き物】

◎魚類

ナベカ、コトヒキ、シマイサキ、マハゼ、ミミズハゼ、アカエイ、トウゴロイワシ、チチブ、ボラ、ヒメハゼ、アベハゼ、アカオビシマハゼ

◎節足動物

イシガニ、ガザミ、イソガニ、ケフサイソガニ、キンセンガニ、マメコブシガニ、コメツキガニ、ヤドカリの仲間、フナムシ、シロスジフジツボ、イワフジツボ、カメノテ、テナガエビ、

◎棘皮動物

スナヒトデ、サンショウウニ、ハスノハカシパン殻

◎軟体動物

アサリ、イボニシ、アラレタマキビ、コガモガイ、コウダカアオガイマガキ、ヒザラガイ、マガキ、

貝殻：ツメタガイ、バカガイ、カガミガイ、ムラサキイガイ、アカニシ、カリガネエガイ、サルボウガイ、シオフキ、コベルトフネガイ、ナミマガシワ、アズマニシキ?、オオノガイ、ホタテガイ

◎その他

シロボヤ、ヨロイイソギンチャク、タテジマイソギンチャク、ヤッコカンザシ、ムギワラムシ、スゴカイ

◎植物

アナアオサ、アマモ、オニグルミ、ヒシ

【観察会の様子】



【左】元気に受付です



【右】海を見ながら開会式

【行事名】 「公園の生きもの」 (身近な生き物たんけんたい)  
主催

●愛知県知多県民センター

【日時】 2013年10月5日(土) 9:30~11:50

【場所】 半田市任坊山公園

【天気】 曇り

【担当】 榊原正

【参加者】 一般 12世帯と一団体の43人 (大人18人 子ども25人)

指導員 17人 (浅井一、岩本、大野、加藤美、門脇、桑原、榊原正、竹内秀、中井三、  
島、平松俊、降幡、古川、南川、森田琢、山田絹、吉房)

【内容】

昨夜遅くの天気予報でも『本日は午前中雨…』でした。誰もが十中八ッ九雨を覚悟していました。でも、結果は、熱中症や紫外線を苦しめないですむもってこいの観察会天気でした。

さて、本日は次のような日程で始まり、終了しました。

・ 8:30~ 指導員集合。本部、受付のテントや机を設置。旗や案内板の取り付け。参加者整列用小旗の位置決め

・ 9:10~ 受付開始。参加者への配付物…虫取り用タモ、レンズ付き観察器、リーフレット (公園の生きもの、セミの抜け殻、きのこ)

・ 9:30~ 主催者挨拶。諸注意 (配付物の説明…利用法など含む)

・ 9:45~ 観察会開始。班ごと (1班~6班) にそれぞれの方向に出発。出発後、班ごとで指導員の自己紹介

・ 11:30 11:10~11:30までに本部前に戻ってくる → 班ごと解散 → アンケートに参加 → 芝生広場でご自由

・ 11:40~ 本部、受付等の後片付け → 指導員反省会 (芝生の上で車座) → 指導員解散 (12:25 でした)

本当に雨にならなくてよかったです。

ちなみに、雨バージョンの自然物工作は『木の輪切りのブンブンごま』と『モウソウチクの枝のゴム銃 (パチンコ)』でした。ゴム銃で“まと当て遊び”ができるなど、子どもたちにとっては雨バージョンでも満足できるものを準備していました。 以上 (記:榊原正)

【観察会の様子】



【左】 芝生広場入り口の受付風景



【右】 受付で配付の観察器やタモに自分のなまえを記入



【左】 開会式…主催者挨拶、諸注意など



【右】 解散後、トンボを追っかける子どもたち

【行事名】 平成25年度 知多地域みどりの少年団交歓会

【日時】 2013年10月19日(土) 9:00~12:15

【場所】 東浦町文化センター

【天気】 雨

【担当】 東浦町会員

【参加者】 165名(引率等含め)

(指導員: 南川、榊原正、降幡、門脇、中井三、大野、畠、山田絹、山田公、平田、桑原、吉房、村瀬、吉川、牧野、浅井一、竹内秀)

【内容】

9:00~ 9:20 受付

9:30~ 9:45 開会式

9:45~11:30 森の恵、自然の恵を使ったクラフト工作(写真立て)

\*写真立ての見本を会場で紹介し、作業における注意事項を話す

11:30~12:05 作品発表、記念撮影

12:05~12:15 閉会式

前の週に、伊豆大島に大災害をもたらした台風26号が去り、土曜日は絶対に晴れると信じていたのに、つぎの台風が近づいている影響で朝から雨。みどりの少年団交歓会を開催する農林水産事務所は、前日から天気予報をにらみながらも、何とか午前中の観察会はやりたいと、中止の連絡は無し。ところが、8時半には雨脚は強くなるばかり。9時直前になって、観察会の中止と、文化センターでのクラフト工作開催の午前中日程を決定。天気によって、集合場所が異なる計画であったにもかかわらず、時間通りに各市町の少年団は集まり、開会式はスタートした。

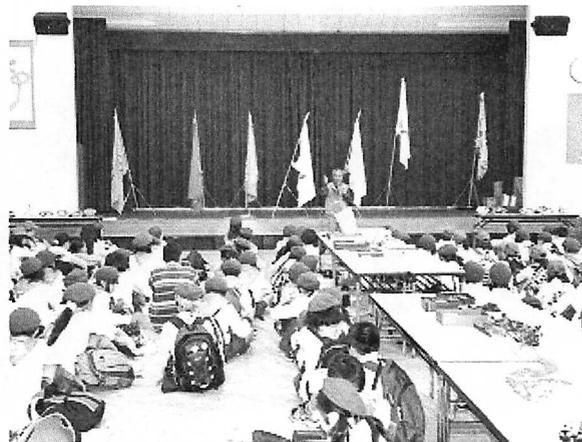
少年団のメンバーの年齢が大きい人が多かったせい?か、狭いホールでの顔合わせと、簡単な説明のあとの工作、というあわただしい日程にもかかわらず、手際よく、アイデアよく、写真立ての作成もすすみ、時間通りにでき、机の片付けや掃除までやってくれるという姿に、指導員一同感心したという声が上がった。例年通り、数人のやけどもあったが、大したことはなかった。思い思いの写真立てを脇に置いて、閉会式後、雨の上がった会館回りで弁当をほおぼる姿が見られた。

(記・竹内秀)

【作品制作の様子と使った材料】



【左】 開会式



【右】 写真立ての作り方を説明



【左】 まず名札に名前書き



【右】 プレゼントされたもの

【行事名】 「朽木の生き物を探そう」

●大曾公園事務所主催

【日時】 2013年3月10日(日) 9:30~11:30

【場所】 常滑市大曾公園

【天気】 うす曇 21度

【担当】 降幡、水野由(欠)

【参加者】 一般16名

(指導員：降幡、森田琢、中井三、桑原、岩本、村山、山本、浅井一、平松俊、門脇、榊原正、牧野、畠)

【内容】

今年度最終行事の日は、暖かい日で穏やかな観察日和になりました。虫さん大好きな家族がたくさん集まりました。最初にたくさんの種類の虫さんが生きているのは、たくさんの種類の食べ物があることとお話しました。あわせて人間は雑食であるが虫さんは偏食であることとお話しました。虫さん観察と同時に虫さんが済んでいる環境についてもお話しました。

森の中に入り虫さん探しを行ないました。公園内の森は理想的に整備されていました。整備は専門業者岩間造園が携わっていて、自然環境を考えた整備がされていました。間伐した樹木は、林内に集められて自然に分解し、森の肥料になるよう工夫されていました。その一部をいただき、楽しい虫さがしを行ないました。最後に榊原正躬さんから旅行土産の珍しいナッツをいただきました。

(記・降幡)

【観察した生き物】

◎昆虫

コクワガタの雌、ナガニジゴミムシダマシ、キマワリ、ナガニジゴミムシダマシ、エグリゴミムシダマシ、ヒラタクワガタ?、コクワガタ?、コクワガタ?、カミキリ、コメツキムシ?、ユミアシゴミムシダマシ、モリチャバネゴキブリ、ヒゲジロハサミムシ、ケバエ、

◎その他

イシムカデ、マクラギヤスデ、ミミズ、ミズジコウガイビク、カワラタケ、

【観察会の様子】



【左】 開始のあいさつ



【右】 森の中に移動



【左】 早速、挑戦



【右】 キマワリの幼虫が出てきました

【行事名】 「秋の虫を観察しよう」 主催:大曾公園

【日時】 2013年10月13日(日) 09:30~11:00

【場所】 集合:大曾公園P 観察場所:園内交通公園跡地

【天気】 晴れ

【担当】 森田琢、平松俊

【参加者】 一般16名(大人6名、子供10名)

(指導員4名:森田琢、平松俊、中井三、牧野)

### 【内容】

早朝から晴天に恵まれましたが、風がやや強く草木がなびいていました。5家族16名の参加をいただき、内4家族が初参加でした。

スズメバチへの注意を促した後、早々にチガヤ・クズ・セイタカアワダチソウが群生する草地に分け入り、思い思いに虫網を振って虫採集をして頂きました。

指導員は個別に虫の取り方や、見つけた虫の生態を解説しました。捕れた生きものの多くはチョウ類、バッタ類、クモ類でしたが、例年必ず捕らえられるカマキリ類は皆無でした。

途中、お母さん方にはススキの葉を使って「草バッタ」作りも楽しんでもらいました。

また、園内に仕掛けてあった雀蜂トラップにコガタスズメバチが3匹ほど罠にはまる様子も観察できました。

約1時間ほどで採集と観察を切り上げ、それぞれが採集した生きものを観察容器に移し替えて、分かち合いのお話をして観察会を終えました。

(記・森田琢)

### 【観察した生き物】

#### ◎植物(昆虫たちの主な食草)

チガヤ、クズ、セイタカアワダチソウ、コセンダングサ、ススキ、メリケンカルカヤ

#### ◎動物(昆虫類)

ウラギンシジミ、ウラナミシジミ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、モンシロチョウ、キチョウ、キタテハ、チャバネセセリ、イチモンドセセリ、ルリタテハ

ウスバキトンボ、コノシメトンボ

トノサマバッタ、オンブバッタ、マダラバッタ、ツチイナゴ、ショウリョウバッタモドキ、ホシササキリ、オナガササキリ、ミツカドコオロギ

ホソヘリカメムシ、マルカメムシ

コアオハナムグリ、コフキゾウムシ、オジロアシナガゾウムシ、ナナホシテントウムシ

コガタスズメバチ、セイヨウミツバチ

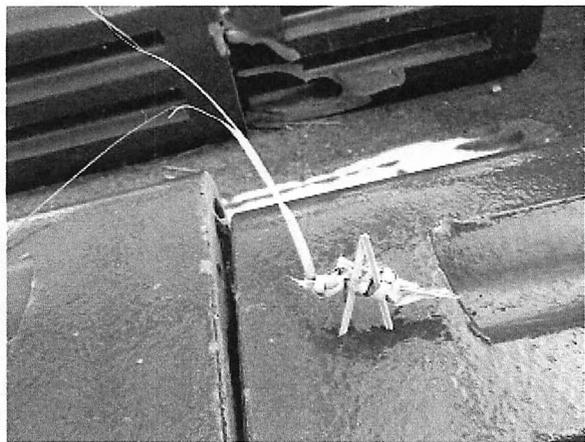
#### ◎その他

ジョロウグモ、ナガコガネグモ、その他のクモの仲間(2種)

### 【観察会の様子】



【左】「草バッタ」作り



【右】作品

【行事名】 朽木にすむ虫たち ●二ツ池セレクトナ主催

【日時】 2013年2月24日(日) 9:30～11:30

【場所】 二ツ池公園(大府市)

【天気】 晴れ

【担当】 村瀬、吉川洋

【参加者】 一般7～8家族

指導員5名(榎原正、今西、村瀬、吉川洋、門脇)

【内容】

半田は晴れの上天気でしたが二ツ池では少しの雪が舞う木枯らし的な天気でした。

予約済みの家族がそろったので暖かい部屋の中での説明の後、本日のテーマに期待を込めて冷たい風の吹く館外の林の中へ、いざ、出陣…。

① まず、虫さんたちが住んでいそうな朽ち木探し

② 次に、お楽しみの“カブトムシの幼虫”探し

③ 続いて、集めた朽ち木を分解して住んでる虫さん探し

④ さらに、子どもたちの要望に応じ、クワガタやカブトの幼虫の飼い方の説明

……まだ続くのですが私(記録者)はここで“さよなら”でした。参加の皆さんは、この後、暖かい部屋に虫さんたちを持ち込んで虫さんたちの詳しい観察をすることでしょう。(記:榎原正)

【観察会の様子】



【左】 まず、虫さんたちが住んでいそうな朽ち木探し



【右】 次に、お楽しみの“カブトムシの幼虫”探し



【左】 集めた朽ち木を分解して住んでる虫さん探し



【右】 出てきたスズメバチの観察(写真にポインター→少し拡大)

【観察会の様子-続き】

【行事名】 森の研究室②野鳥のおもしろ生態 I ●二ツ池セレトナ主催

【日時】 2013年5月12日(日) 9:30~11:50

【場所】 二ツ池公園 (大府市)

【天気】 晴れ

【担当】 大嶋 門脇

【参加者】 一般 大人6人 子供5人

(指導員：榊原正、浅井一、今西、村瀬、吉川洋、大嶋、門脇)

【内容】

室内で本日の予定と最近ツバメの数が減ってきているという話などを聞いてから、外への観察にトイレの後、玄関前を出発

観察コースの樹上に数年前に設置された巣箱にシジュウカラが出入りしている。その様子を暫く観察した後、再び観察コースに沿って鳥探し

しかし丁度この時期、若葉が茂りだし声は聞こえど姿は見えずなかなか見つけ出すことができない。その中で18種類の観察は上出来か？

最後にカルガモの親子を見てココロ穏やかな観察会となりました。 (記：門脇)

【観察した生き物】

< 鳥 > スズメ、ヒヨドリ、メジロ、シジュウカラ、カルガモ親子、アオサギ、カワセミ、バン、ツバメ、ムクドリ、コアジサシ、ハシブトガラシ、ハシボソガラス、カワウ、カワラヒワ、キジバト、コサギ、コゲラ 以上18種

【観察会の様子】



【左】 観察コース出発前のお話し (室内事前学習の後)

【右】 巣箱に出入りするシジュウカラを待つ (見えた)



【左】 カワセミ。見えた人も見えなかった人も。魚をくわえているのを見た幸運な人もいた

【右】 木製散策路の上から…。アカミミガメ (手前右) とライギョ (後ろの中央) が見える

【観察会の様子-追加】

【行事名】 虫・花・樹をさがそう ●あいち健康の森公園

【日時】 2013年7月28日(日) 9:30～

【場所】 大府市あいち健康の森公園

【天気】 晴れ

【担当】 吉川洋行、村瀬

【参加者】 参加者30人

(指導員：吉川洋、村瀬、今西、大嶋、門脇、榊原正、竹内秀、浅井一)

【内容】

毎日のかんかん照りで雨も少なく、樹液の量も少なかったようです。カブトムシに目がかがやかせる子どもたちの期待にはちょっぴり応えきれなかったものの野生のカブトムシが2頭、セミの抜け殻ラッシュが見られ、トンボや蝶、カミキリムシがそれぞれにとれたので子どもたちはそれなりに満足そうでした。お父さんたちがモンキチョウやアゲハチョウなどのチョウやシオカラトンボ、コシアキトンボなどのトンボ類をたくさん捕ってくれて盛り上がりました。夜か早朝にまた来よう！とはりきっている家族もいました。終わりごろになって、死んでしまおうとかわいそうだからと、自分から虫たちを野に放している子供がいてそこにいたみんなでバイバイをしました。暑さのためか、カツラの葉に元気がなく、甘いにおいが漂っていたり、クマバチに空けられた穴がたくさんみられる枝が多かった気がしました。(記・竹内秀)

【観察会の様子】



【左】 何がいるかな



【右】 うまくいられるかなあ



【左】 クマバチのお家



【右】 セミの幼虫がなっています

---

【観察会続き】

**【行事名】** 冬に長旅して来た野鳥 ●梅の館

**【日時】** 2013年1月12日(土) 9:30~11:30

**【場所】** 知多市梅の館周辺と佐布里池

**【天気】** 晴れ

**【担当】** 山田絹、神野

**【参加者】** 7名

(指導員：山田絹、神野、大野、平田、平松俊、森田博、古川、竹内秀、降幡、伊藤祐)

**【内容】**

朝、張っていた氷が昼になってもとけない程、とても寒い一日でした。館内で観察についての説明の後、遊歩道を池の方に進みました。鳥を探して上を見ていると雲の端が虹色に光っていました。一同感激してしばらく見つめていました。(私見ですが全円形の虹に見えました・・・大野)池の中ではマガモのペアの求愛行動が観察できました。池を離れるとシジュウカラの群れが梅の木の間を飛びまわっていました(記・山田絹)

観察結果：寒さのためか観察の間ほとんど虫を見ませんでした。冬の定番オオクロバエすら見つかりませんでした。

**【観察した生き物】**

◎昆虫

ウスバフユシャク、ゴミムシ類、ヨモギハムシ、コバネヒョウタンナガカメムシ?、サビヒョウタンナガカメムシ?、ケブカカスミカメムシ?、ユスリカ類、ハエ類

◎鳥

ヒヨドリ、スズメ、ツグミ、メジロ、キジバト、ジョウビタキ、カワラヒワ、カルガモ、シメ、ハクセキレイ、カイツブリ、マガモ、ハシブトガラス、カワウ、ミミカイツブリ、アオサギ、シジュウカラ、ヤマガラ、コゲラ、モズ

**【観察会の様子】**



【左】鳥の観察方法などアドバイス



【右】ヒヨドリの大群



【左】メジロ



【右】佐布里池のカモ観察

**【観察会続き】**

【行事名】 灯火に集まる虫とヘイケボタルの観察

●地域文化センター主催

【日時】 2013年6月14日(金) 19:00~21:00

【場所】 知多市旭公園⇒大同グランド

【天気】 晴れ

【担当】 平田、大川

【参加者】 20名

(指導員：平田、大川、大野、平松俊、降幡、中井康)

【内容】

早々と梅雨に入った今年だが、ぐんと気温が上がって今日も真夏日。日が沈んでもまだまだ暑いし、空は明るい。主催者(地域文化センター)の挨拶と注意事項等の説明を受け、公園グランドを左に見ながら進む。どんぐり林に着く頃ようやく懐中電灯の出番となるが、大型のカブトムシの類は姿を見せない。

公園を抜け、木立に囲まれた大同グランドへ向かう。真っ暗な空へ抜けていく軽快なエンジン音が響く中、水銀灯の青い光に誘われた虫たちが我々を待っていた。

さて、ヘイケボタルは・・・? 「行ってみよう!」と全員で雑木林を通り抜けて田圃が広がる水路付近で目を凝らす。ボタルには巡り合えなかった。(下見ではクロマドボタル幼虫2頭の光を観たのだが)。

ところで、この雑木林の幅は精々40メートル程度だが、それなりの傾斜がありしかも夜、子ども達にはちょっとした探検気分が味わえた筈。何しろ、こんな小さな林でさえ結構路に迷う。ということで、森の脇道をぐるりと回って灯火採集のグランドへ戻る。

スクリーンの周りに集まった子ども達へ、平松俊さんが一つひとつ虫の説明をした後、集合写真を撮って解散した。

ナント、灯火採集にクロマドボタルの成虫が飛び込んで来るなど当日、昆虫の種類は比較的多かった。そんなこんなで、装置を仕舞うのが惜しいのか、ついつい遅くまで楽しんでしまった。

(記・平田)

【観察した生き物】

◎昆虫

メイガ類、ヤガ類、シャクガ類などが多種、キリギリス類幼虫、ヒシバッタ類幼虫、ゴミムシ類、アオバアリガタハネカクシ、ハネカクシ類、コガシラハネカクシ類、ビロウドコガネ類、ドウガネブイブイ、アオドウガネ、コフキコガネ、クロコガネ類、セマダラコガネ、ハムシ類、キマダラカミキリ、ウスモンツツヒゲナガゾウムシ?、サビキコリ、ヒゲコメツキ、クシコメツキ類、ナミテントウ、ヒメカメノコテントウ、クロマドボタル(成)、マルハナノミ類、コガタシマトビケラ類、クサカゲロウ類、フタモンホシカメムシ?、カスミカメムシ類、ツマグロヨコバイ、ヒシウシカ類、ガガンボ類、ケバエ類、ハエ類、ヒメバチ類

【観察会の様子】



【左】 今日の見どころを話しています



【右】 旭公園のどんぐり林で観察

【行事名】 企業緑地の生きもの「IHI愛知事業所」（知多市自然調査隊） 主催 知多市環境政策課

【日時】 2013年9月28日(土) 09:30~11:00

【場所】 集合：IHI愛知事業所 会議室

【天気】 晴れ

【担当】 中井康、吉川勉（欠）

【参加者】 一般39名（大人19名、子供20名）、市職員2名、IHI社員4名、CCNC撮影取材4名  
（指導員7名：中井康、吉房、大野、古川、中井三、森田琢、浅井一）

## 【内容】

（記・中井康）

### 【観察した生き物】

#### ◎植物

##### 保全林の中

高木 アラカシ、マテバシイ、スダジイ、クスノキ、エノキ、ハルニレ、ケヤキ、ムクノキ、  
トウカエデ、トウネズミモチ、ハゼノキ、ナンキンハゼ、ニセアカシア、  
シナサワグルミ（ニセアカシアによく似ている）、モミジバフウ

亜高木 トベラ、アカメガシワ、イヌビワ、ホソバイヌビワ

低木 ヤツデ、キツタ

草本 イラクサ、イノコヅチ、キツネノマゴ、クズ、ガガイモ、キカラスウリ、スズメウリ

##### 保全林の周辺、草地

高木(街路樹) ヒマラヤスギ、ソメイヨシノ、トウネズミモチ、ハゼノキ、ナンキンハゼ、ニ  
セアカシア、クスノキ

亜高木(街路樹) キョウチクトウ、フヨウ

低木 ノイバラ、ササの仲間

草本 ヤブガラシ、ヘクソカズラ、クズ、チガヤ、セイバンモロコシ、ネコジャラシ、オヒシ  
バ、センダングサ、ヒガンバナ、オオニシキソウ、アレチハナガサ  
メマツヨイグサ、アメリカイヌホウズキ

#### ◎動物

哺乳動物 ニホンイタチ(?)

鳥類(鳴き声) コゲラ、カワラヒワ、キジバト、ハシボソガラス

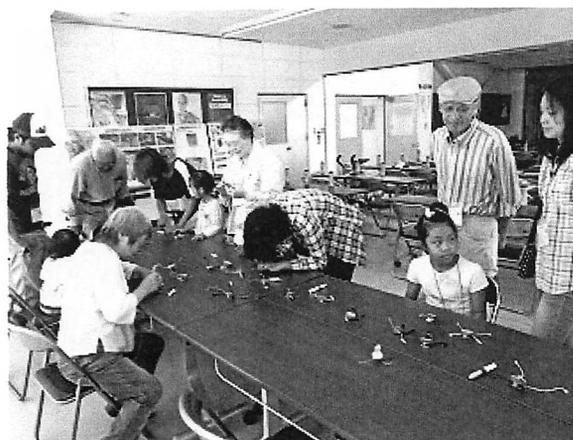
昆虫類 オオスズメバチ(死骸)、アシナガバチ、ツクツクボウシ、ヤマトシジミ、ハラ  
ビロカマキリ、トノサマバッタ、クルマバッタモドキ、ヤブキリ、  
アキアカネ、チョウトンボ、アオスジアゲハ

土壌動物 オカダンゴムシ

#### ◎その他

菌類 キクラゲ

### 【観察会の様子】



【左】受付、待ち時間に名札づくり



【右】開会

【行事名】 明徳寺川の中をのぞこう

東浦町環境課

【日時】 2012年6月15日(土) 9:30~11:30

【場所】 東浦町明徳寺川(東浦町うのはな館付近)

【天気】 くもり

【担当】 田中央、山田公

【参加者】 一般30名ほど

(指導員: 田中央、山田公、金内、原、榊原正、門脇、大野、浅井一、桑原、竹内秀、岩本、森田博、降幡)

【内容】

つゆというのに雨のふらない6月、それでも雨を感じさせる風がそよ吹く曇り空。水量は少し少なめ、例年より一つ上流の橋の周りのため深みもなく安心して水に入ることができた。入って早々大きなフナをゲット。少々弱っていたがお腹のふくらみからすると卵をもっているようだった。

そろそろと脚立を降りていざ川へ。いったん川に入ってしまうと、もう、夢中。1時間ほど親子で協力し合ってエビや魚を取った。魚たちの逃げ込める草むらが思ったより少なく、とれたものの種類は少なめだった。

サクラの下で、みんなで見つけた生き物を見ながら説明を聞いた。外来の魚はお目見えしていた。モロコヤクチボソ、オイカワ見つかったのは良かった。(記・竹内秀)

【観察した生き物】

◎魚類

フナ、ブルーギル、ブラックバス、カダヤシ、ボラ(稚魚)、モツゴ、コウライモロコ、タイリクバラタナゴ、カマツカ、オイカワ

◎甲殻類

ヌマエビ、テナガエビ、アメリカザリガニ、モクズガニ、アメリカザリガニ、アメンボ

◎その他

オカモノアラガイ、マツモ、ウシガエルのオタマジャクシ、近くの田んぼでホウネンエビ

【観察会の様子】



【左】 おおきなふな



【右】 親子で協力



【左】 なにがいるかな



【右】 お楽しみの“お魚のお話”

【行事名】 「森の宝物で工作」 ●東浦町環境課

【日時】 2014年11月2日(土) 9:30~11:30

【場所】 東浦町於大公園内 このはな館

【天気】 晴れ

【担当】 桑原、山田公

【参加者】 大人 子供合計 24名 (工作のみの 飛び入り参加もあり)

(指導員：桑原、山田公、岩本、竹内秀、田中央、大野、浅井一、門脇)

【内容】

三連休の後半は雨の予報で、今日2日は雨は大丈夫という曇空。風もなく外で工作の用意をした。ところが、5分前になっても参加者は5人ほど。公園には紅葉めあてに散歩するシルバーや親子連れがちらほら。どうなることかと気をもんだが、会を始め実を拾うため30分ほど公園を軽く回って帰ってくる頃には24人の参加者となり、園内放送も入れずにすんだ。男の方で植物のことが知りたいと参加された方や、先週健康の森での参加者で名古屋からの参加もあった。アラカシのまだ青さも残る実が拾え、コナラ、クヌギとドングリロードを通る。子どもならず大人までもが歓声を上げて拾う。クヌギは未成熟果が多いように思われた。小さいが多かったので、ハクウンボクの方へは行かなかった。3年連続で、参加された親子連れもいたり、工作の様子を見て工作だけ参加という親子や、終わりごろに参加したいのだからと来られ作っている親子もいた。今年の工作も見本無しでスタート。はじめからオリジナルで、どの作品も世界に一つだけのステキなものができあがった。子どもの年齢が小さかったが、大人顔負けの作品を作る子もいた。大人は、クリスマスを意識して楽しんでステキな作品を作っていた。(記・竹内秀)

【観察した生き物】

◎植物

クヌギ、コナラ、アラカシ、ツバキ、ヤマノイモ

◎昆虫

カマキリ

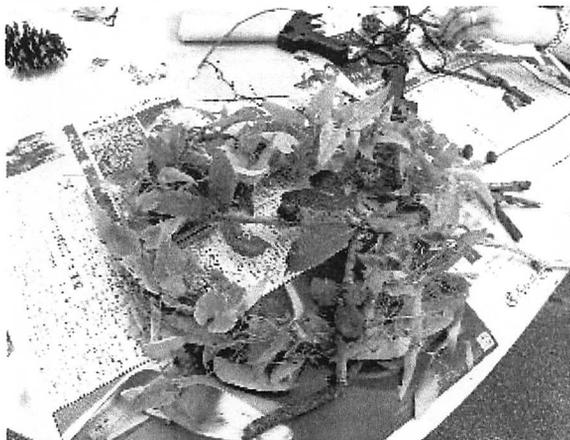
【観察会の様子】



【左】どんぐりひろったよ



【右】ママとたくさん拾ったよ



【左】ヤマノイモでリース。



【右】モビールってどうやってつくるの？不思議。

【行事名】 朽ち木にすむ虫の観察（東海市施設管理協会）

【日時】 2013年2月9日（土）9：30～11：00

【場所】 東海市大池公園西側林

【天気】 曇りのち晴れ

【担当】 吉村、吉田（欠）

【参加者】 一般 6名（大人4名、子供2名、参加予定14名のうち9名がインフルエンザで欠席）

（指導員：吉村、平松俊、岸本、岩崎）

【内容】

立春を過ぎたとはいえ、強い寒気の襲来で気温の低い観察会となった。それでも、風がほとんどなかったため、ひどく寒いと感じることはなかった。そんななかで始めた本日の観察会。毎年同じ場所で実施しているためか朽ち木がなくなってきている。今年は、昨年分解できなかった堅い部分を、一年ぶりに持ってきて使うことになった。一年でどれほど柔らかくなるのかということに参加者に実感してもらうことができたが、肝心の「朽ち木の中の生き物」については、例年より単調であった。特に、スズメバチ類やコクワガタなど、飛ぶことのできる昆虫の成虫が見られなかった。朽ち木の置かれていた場所が、日が当たり乾燥しやすく温度変化の大きい場所だったことに関係があるのかもしれない。参加人数が少なかったこともあり、生き物の数も種類も過去のこの観察会と比べると少ない方であった。ただ、あれやこれやといっぱい出てきて刺激的な観察会もいいが、一つずつじっくり見られる今日のようなのもよいのではないかとという声も聞かれた。（記・吉村）

【観察した生き物】

◎昆虫

コクワガタ（幼）、クロウリハムシ、キマワリ（幼）、ヨツコブゴミムシダマシ（成）、エグリゴミムシダマシ（成）、ケバエ類（幼）、ヤマトゴキブリ？、ヒゲジロハサミムシ

◎その他

アオズムカデ、イシムカデ？、ゲジ、マクラギヤスデ、ダンゴムシ、ワラジムシ、カタツムリ、ミミズ

【観察会の様子】



【左】施設管理事務所長さんの挨拶



【右】観察前の朽ち木の虫の説明



【左】ゲジ



【右】コクワガタ（幼）とヨツコブゴミムシダマシ（成）

【行事名】 公園のキノコを観察しよう」 ●東海市施設管理協会

【日時】 2013年10月13日(日) 9:30～11:30

【場所】 東海市大池公園

【天気】 晴れ

【担当】 降幡、吉房

【参加者】 27名

(指導員：降幡、吉房)

【内容】

今年は猛暑が続き、雨も少なくキノコの発生は期待できません。昨日の東浦町の高根の森でのキノコの観察では例年に比べて非常に種類が少なかったのが心配していました。キノコの観察は人気があり毎年申込者がたくさんあります。今年もたくさんの方が申し込まれました。早速、キノコのお話をしてから池に沿ってキノコ採集を行いました。やはり発生は少なくほとんどがサルノコシカケやコウヤクタケの仲間いわゆるキノコ型のものは少なかったです。子供たちは木の実などの副産物に目が行き、たくさん集めて楽しみました。

ベテランお方が参加されオオワライタケ(毒)、ウスヒラタケ(食)、チチアワタケ(食)などを採集してくれました。子供たちもいろいろな木の実を集めてくれました。最後にキノコと木の実見て分かち合いができました。(記・降幡)

【観察した生き物】

◎キノコ

ウラベニガサ(食)、オオワライタケ(毒)、シロハツモドキ(毒)、サマツモドキ(食)、チチアワタケ(食)、ウスヒラタケ(食)、アマタケ?、ノウタケ、カワラタケ、アラゲカワラタケ、チャカイガラタケ、】コフキサルノコシカケ

◎植物

ヒガンバナ、ヤブミョウガ、タイサンボク

【観察会の様子】



【左】キノコを探しています



【右】不作でもたくさんキノコを集めました



【左】ウラベニガサ(食)



【右】オオワライタケ(毒) 幻覚作用を起こします

【行事名】 灯火に集まる虫の観察とナイトハイク ●半田市環境課主催

【日時】 2013年7月20日(土) 19:00~20:40

【場所】 集合：半田市雁宿公園P (旧市営プール)

【天気】 晴れ

【担当】 榊原靖 山田和

【参加者】 親子で20名ぐらい

指導員 平松俊、古川、大橋、加藤美、榊原正、榊原靖

### 【内容】

晴れてくれたのはよいことでしたが今夜は満月に近い十三夜。しかも衣浦港での大花火大会開催日。参加申し込み数を若干気にしてましたが20名近くありましたので賑やかに実施できました。

指導員は18:30には集合し19:00の開会に間に合うように旧交通公園の適切な場所へ“灯火採集装置”を設置。

集合場所(駐車場)での開会の挨拶後、まず、灯火装置の前に行き装置の説明と「ナイトハイクをして戻ってきたときに虫さんがいっぱいいるといいね」と期待を持たせてナイトハイクに出発。

ナイトハイクではムカデやスズメバチなどの危険生物やちょっと見キモくて怖そうなオオゲジに会ったりしましたが、大好きなクワガタやカブトムシをつかまえた子も何人もいたりして、結果的には楽しい観察会になったと思います。 以上 記：榊原正

### 【観察した生き物】

#### ◎昆虫

ナイトハイク：キシタバ類、カラスヨトウ、コクワガタ、カブトムシ、カナブン、コメツキムシ類、ヨツボシケシキスイ、キマワリ、ウスバカゲロウ類、モリチャバネゴキブリ

灯火：メイガ類、シャクガ類、ヤガ類などが多種、ハネカクシ類、アオドウガネ、クロコガネ、カゲロウ類、ニイニイゼミ、アブラゼミ、オオホシカメムシ、ヒメホシカメムシ、イチモンジカメムシ、ホソヘリカメムシ、ツマグロヨコバイ、ハチ類、羽アリ

### 【観察会の様子】

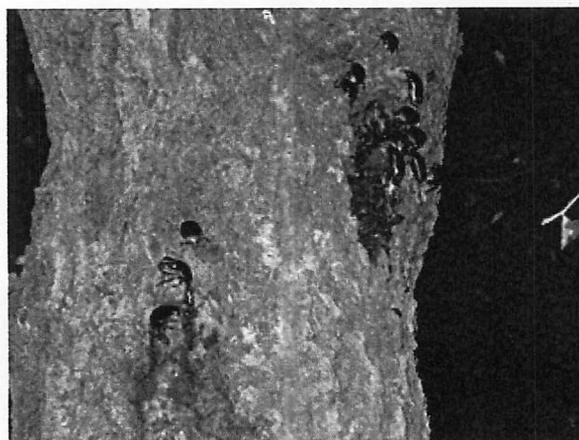


【左】 ナイトハイクは“虫さがし” ライトが明るいとう利



【右】 おっと！オオゲジ発見。オオ

ゲジは益虫。写真をクリック→ビッグサイズの写真



【左】 カナブンがいっぱい。樹液が出ている証拠



【右】 灯火装置の白布にとまっている虫の説明。カブトやクワは来ていなかった

【行事名】 矢勝川の生き物観察

●半田市環境課主催

【日時】 2013年8月18日（日） 9:30～11:20

【場所】 集合：修農公民館P

【天気】 晴れ

【担当】 榊原靖 加藤美

【参加者】 親子で30名

指導員 浅井一(親子)、金内、加藤美、榊原正、榊原靖、古川

【内容】

修農公民館から川への降り口までは約450メートル。暑い中を歩くが、期待が胸にあるのでへっちゃらです。降り口には主催者（環境課職員）がセットしたテントなどが設置され（掲載写真参照）参加者を待っていました。降り口付近のきれいに刈り込まれた土手も主催者が数日前にやったとのことです。

本日は地域のケーブルテレビ（CAC）が取材に来ていました。

さっそく、川に入り、採集活動、40分ぐらい。初心者の参加者にはベテランの指導員が採り方のお手本を見せていました。

家族ごとにバケツに獲物をもって上がってくるのでそれをきれいに洗って、きれいなミニ水族館を作りました。きれいなミニ水族館は、いつものことですが、子どもたちには大人気です。

11:20ごろには主催者の終わりのあいさつがありましたが、その後、つかまえた生きものとの“ふれあいタイム”を設けたので、結局、片付けも終わったのは12:00過ぎていました。しかし、ホントに、子どもたちが触りながら歓声をあげているのを聞くたびに、“本物に触れあうことの大切さ”を感じています。 以上（記：榊原正）

【観察会の様子】



【左】 始めのお話。修農公民館にて



【右】 川への降り口（修農公民館から約450m）



【左】 採集風景…初心者家族もベテラン家族も…



【右】 自分たちでつかまえた魚などの説明を聞

く

【観察会の様子-追加】

【行事名】 「海辺の生き物」 観察会 主催:美浜町環境保全課

【日時】 2013年6月23日(日) 9:30~11:45

【場所】 集合:美浜町富具崎港P

【天気】 曇り時々晴れ

【担当】 森田博、森田琢

【参加者】 一般31名(大人14名、子供17名、10家族)  
(指導員5名:森田博、森田琢、中井康、門脇、浅井一)

#### 【内容】

梅雨の晴れ間の蒸し暑い観察会になりました。潮時は大潮(干潮11:47)で富具崎港Pは釣り人の車で一杯でした。

美浜町環境保全課の職員2名、CCNCのTV取材1名の方が早めに来てそれぞれの準備をされていました。

海の生きもの観察会はいつも盛況で、今回は10家族31名の参加を頂きました。観察会を楽しく安全に進めるため

海辺の危険、危険な生きもののお話し、子供たちへの安全の気配り、目配りをお願いしてスタートしました。

磯浜が初めてのご家族はあれなあに、これなあにから始まり、体験を重ねているご家族はいきなり魚や蛸を採り

強力な助っ人役も果たしてくれます。約1時間15分程の観察タイムの間、全てのご家族に付き添うことは出来ませんでした

気楽に声を掛け質問もして戴きましたので、円滑に進めることができました。今回は人気のマダコが3匹程捕獲できました。

吸盤の吸着力の強さや、周囲の居場所にあわせて体色を変化させる様子は全ての参加者の注目の的になりました。

11時に全員を招集し、皆が採った生きものについて森田博指導員から分かちあいの解説をして戴きました。

(記・森田琢)

なお、ニュースCCNC(30分番組)の放映予定時刻は次の通りです。

6月24日(月) 18:30~ 21:00~ 22:30~

6月25日(火) 6:00~ 7:00~ 11:00~ 12:00~

6月30日(日) ニュースCCNC総集編 9:00~ 16:00~ 18:30~ 22:00~

#### 【観察した生き物】

##### ◎魚類

クジメ、メジナ、ボラ(稚魚)、ウミタナゴ、ゴンズイ、キヌカジカ、メバル、コウライヨロイメバル(稚魚)、

アナハゼ、アゴハゼ、ミミズハゼ、アナハゼ(?), ギンボ、イソギンボ、コモンイトギンボ、ナベカクサフグ、カレイの仲間

##### ◎節足動物

クロフジツボ、イワフジツボ、カメノテ、

イシガニ、イソガニ、ヒライソガニ、

オヒラキヘラムシ

ホンヤドカリ、コブヨコバサミ

##### ◎軟体動物・貝類

ヒザラガイ(別名ジイガセ)、スガイ(貝衣共生)、イボニシ、キクノハナガイ、マガキ

ウミフクロウ、クロシタナシウミウシ、マダコ

##### ◎棘皮動物

マナマコ(変異体:クロ、アカ)、イトマキヒトデ、ムラサキウニ、サンショウウニの仲間

##### ◎腔腸動物

ヨロイイソギンチャク

##### ◎海綿動物・脊索動物

ナミイソカイメン、スナモチボヤ(?)

##### ◎海藻

アナアオサ、ミル、キョウノヒモ、ピリヒバ

##### ◎海浜植物

ハマダイコン、ハマウド、トベラ、グミ、ハマエンドウ

#### 【観察会の様子】

**【行事名】** 布土川の生き物観察 美浜町環境保全課

**【日時】** 2013年9月7日(土) 9:30 ~ 11:30

**【場所】** 美浜町布土川(河口より約800m上流、平田橋周辺)

**【天気】** 晴れ 気温25℃位

**【担当】** 斉藤、榊原靖

**【参加者】** 大人7名、子供10名、他に美浜町2名

(指導員8名: 斉藤、榊原靖、大矢晃、降幡、榊原正、森田博、古川、門脇)

**【内容】**

降雨が心配されたが、曇り空の中、少し蒸し暑かったものの、観察にはちょうど良い条件だった。美浜町以外で、名古屋市から1家族、半田市から2家族の参加があり、確認種も多く、充実した観察会になった。

確認された生物は例年より魚種が多く、今までで初めて確認されたものもあった。今年は河川のヨシが刈り取られており、観察可能な範囲が広く、長くとれたことも一因と考えられる。

採取した生物の確認の際、ザリガニの雌雄の見分け方、アユの匂いなど、観察指導員による解説に、参加の親子連れも興味深く聴き入っていた。

今回の観察結果から、布土川は生き物観察には良好な場所であることが確認できたものと思われる。次年度以降も観察会を充実させていきたい。(記・斉藤)

**【観察した生き物】**

◎ 魚類

アユ、オイカワ、カマツカ、スズキの子(ヒラズギ?)、タイリクバラタナゴ、ヌマムツ、フナ、ゴクラクハゼ、マドジョウ、カラドジョウ?

◎ 甲殻類

テナガエビ、ミズレヌマエビ/アメリカザリガニ、モクズガニ

◎ 昆虫類

ハグロトンボ、シオカラトンボ(ヤゴ)、イトトンボ(ヤゴ)、コガタシマトビケラ、コシマゲンゴロウ、ヒメガムシ、ミズムシ、ヒル

◎ 両生類・は虫類

トノサマガエル?、ニホンイシガメ、ミシシッピーアカミミガメ

◎ 貝類

イシマキガイ、サカマキガイ、シジミの仲間

◎ 鳥類

カワウの死骸(2個体)

**【観察会の様子】**

>



【左】美浜町環境保全課のあいさつで開始

いました



【右】流れに沿って長い列ができて

## 受託観察会Ⅱ (年度途中で契約した観察会)

※ただし、掲載はホームページにアップしたものだけ

(2013. 1. 1～12. 31)

No	観察場所 「テーマ」 (主催者)	実施日
1	南知多町片名「化石を見つけてみよう」(東海市エコスクール)	(2013. 2. 24)
2	東海市船島小学校「フナビオの生き物探検」(東海市船島小学校)	(2013. 5. 18)
3	南知多町荒磯海岸(まるは前)「磯の生物観察」(愛知県立瑞陵高等学校)	(2013. 6. 7)
4	東海市しあわせ村「公園の生き物観察」(東海市エコスクール) (平洲保育園児)	(2013. 7. 13)
5	東海市東山保育園→上野台公園「公園の虫さん観察」(東海市エコスクール) (東山保育園児)	(2013. 7. 20)
6	美浜町奥田海岸「干潟の生き物に学び自然を大切に」(日本自動車連盟<JAF>)	(2013. 7. 21)
7	南知多町師崎羽豆岬「海に親しむ会」(師崎小学校)	(2013. 7. 8)
8	阿久比町役場周辺「夏休みこども教室・川の生きもの観察・植物標本作り」(阿久比町中央公民館)	(2013. 8. 5)
9	美浜町奥田海岸「海辺の生き物観察しよう」(阿久比町中央公民館)	(2013. 8. 7)
10	知多市野崎川「野崎川の生き物観察」(寺本台子供会)	(2013. 8. 18)
11	日長川山奥橋付近「日長川の生きもの観察」(知多市社会福祉協議会)	(2013. 8. 22)
12	名古屋市稲武野外教育センター「稲武・面の木の自然に触れよう」 (名古屋市立沢上中)	(2013. 10. 3)
13	知多市旭北小学校内「見つけよう、秋の生き物たち」(知多市旭北小学校)	(2013. 10. 18)



【行事名】 化石を見つけてみよう ～化石からみる地球の歴史～  
東海市生活環境課主催 東海市エコスクール

【日時】 2013年2月24日(日) 10:00～11:30

【場所】 南知多町片名蛭子

【天気】 晴れ

【参加者】 40名

(指導員：降幡、大野、桑原、吉村) + (化石の会：木下先生、鈴木先生)

【内容】

東海市エコスクールの目的は、知多半島の地層を見ながら化石の採取を行います。化石を採取することで、知多半島の歴史や地球上の生物の歴史を知ることができ、かけがえのない地球の大切さ、地球環境の保全の必要さを学びます。ということで寒風の中たくさん参加されました。

参加者の顔ぶれは初心者がほとんどでしたが皆さん夢中になり、化石の取り出しをしました。怪我も無く、楽しく実施できたようです。参加者のアンケート(社交辞令?)の結果の一部を紹介します。

○説明が聞きやすかった。○分かりやすい説明で、子どもにもやさしく接してくれた。○親切丁寧だった。○都度きちんと対応してくれた。○ラベルをいただけのがよかった。○もう少し採取の時間があってもいい。○化石探しが夢中になった。○化石採りは初めてだった。○化石がとれなかった。○後世にごみを残さないように心がけていかなければと思った。○1800万年後にはビニル袋が化石として出てくるという話を聞いて、化石はその時代の環境の状態を示すものなのだと納得した。○ごみを残したくない。○たくさんものごみが捨てられているとは思わなかったので、皆できれいにしていかなければいけないと思った。○海岸がごみだらけで残念だった。ごみを捨てないよう心がけたい。(記・降幡)

【観察した生き物】

◎植物

ハマダイコン、アナアオサ

◎化石

◎鳥

トビ、カワウ

【観察会の様子】



【左】 諸注意と化石のお話



【右】 地層のお話



【左】 化石の取り出し



【右】 化石の取り出し

【観察会続き】

【行事名】 「海に親しむ会」 (主催:師崎小学校)

【日時】 2013年7月8日(月) 09:00~12:30 大潮(師崎港干潮12:04)

【場所】 南知多町師崎羽豆岬海岸

【天気】 晴れ(東海地方梅雨明け)

【担当】 森田博

【参加者】 児童94名 (6班顧問6名)

(スタッフ:森田博、中井康、森田琢、大矢美+県水産(漁業生産)研究所職員4名)

【内容】

「海に親しむ会」は ① 地域の海辺に棲む生き物や自然、漁業について、学んだり親しんだりする活動を通して、環境問題やその保全について考え、自然豊かな郷土を愛する心豊かな児童を育てる。②なかよし班での活動を通して、学年の枠を越えた人間関係を育てる。を目的にしています。

東海地方の梅雨明け宣言があった当日は朝からむせかえる様な暑さでした。毎年の恒例行事ですが、児童の元気な笑顔と質問が講師陣をいつもワクワクさせてくれます。教室で「海の学習会」を45分程実施し、10時頃から海岸へ出て自然観察会に臨みました。6班に分かれた児童たちは、熊手やたも網などを手に潮だまりをのぞき込み、思い思いに生きもの観察と採集を始めました。大きなイシガニを小さなたも網で捕まえた高学年の児童は自慢げに見せてくれました。低学年の児童は小さな指先に小さなワレカラやウミウシらしき生きものに乗せて「これ何?」と言って何人もが持参しました。目立って沢山採集された生きものは、ムラサキウニ、マナマコ、ミズクラゲ、マダコ、ナベカなどでした。12時頃から採集した生きもの説明と分かちあいをして観察会を終えました。

観察時間中に磯で転んで膝に怪我した児童1名、観察前から元気がない児童が1名いました。暑い最中の磯浜での観察会は安全への配慮が特に大切であることを再確認しました。

(記・森田琢)

【観察した生き物】

◎海藻

ヒジキ、ミル、マクサ、イロロ、イシゲ、ピリヒバ

◎魚など

ナベカ、アゴハゼ、イソギンポ、ハオコゼ、イシダイ(幼魚)

◎貝、タコなど

ヒザラガイ、スガイ、イボニシ、コシダカガンガラ、サザエ、マガキ、マダコ、クロシタナシウミウシ

◎カニ、エビなど

イソガニ、ヒライソガニ、イシガニ、ケアシホンヤドカリ、クロフジツボ、フナムシ、ワレカラ

◎ナマコ、ヒトデ

マナマコ、イシコ、ムラサキウニ、バフンウニ、イトマキヒトデ、クモヒトデ

◎クラゲ

ミズクラゲ、アカクラゲ

◎イソギンチャク

ヨロイイソギンチャク、タテジマイソギンチャク、ミドリイソギンチャク

◎その他 ゴカイの仲間

ウミケムシ、サンハチウロコムシ

【観察会の様子】



【左】開会挨拶



【右】危険な生きもの説明

**【行事名】** 川の生き物観察（午前） 植物観察と標本作り（午後）  
阿久比町立中央公民館主催

**【日時】** 2013年8月5日（月） 9:00～16:00

**【場所】** 阿久比町中央公民館とその周辺

**【天気】** 晴れ⇒雨⇒晴れ

**【担当】** 降幡、吉房

**【参加者】** 午前の部 小学生19名 午後の部 小学生20名  
（指導員：降幡、吉房）

**【内容】**

阿久比町が例年開催する夏休み子供教室。午前中は殿越川の観察会である。大変暑い日にも関わらず、川に入ると気持ちがよく、昨年より生きものが多いせいか、皆夢中になって生きもの探しである。あっという間に1時間が過ぎた。川沿いの石段に腰掛けて、降幡さんの解説を熱心に聞き、公民館に戻ってから発見した生きものをメモした。昼食の最中に、午後の観察が危ぶまれるくらい大雨が降り、子供達は体育館で自由遊びをした。

午後は公民館周りの観察会。土砂降りの後で珍しく水たまりがあちこちに出来ていた。雨のお陰で暑さをあまり気にせずに、観察会を進めることができた。公民館に戻り、フィルムルックスで標本をつくった。（記：吉房）

殿越川の川の生き物観察場所について

殿越川は阿久比高校から下流は3面張りとなっている。阿久比町保健センター前に人工で小規模のワンドが作られている。ワンドの底質は砂、泥、小石で周りにわずかに植物が生えている。川の生き物の採集はワンドの中で行っている。毎年、阿久比町立中央公民館からの依頼で子供向けの川の生き物観察会を行っているが現場は安全でいろいろな生き物を観察することができる。観察した生き物により、川の環境を知ることができ有効な行事である。（降幡）

**【観察した生き物】**

◎植物

オヒシバ、メヒシバ、クサギ、ザクロソウ、シロツメクサ、ムラサキエノコロ、アレチノギク、カヤツリグサ、ヤマハゼ、エビズル、カタバミ、カミエビ、ヘクソカズラ、ホシダ、カニクサ、ベニシダ、ワラビ、ハリガネワラビ、ゼンマイ、

◎昆虫

川の時⇒アオスジアゲハ、シオカラトンボ、アカムシ（ユスリカの幼虫）、コカゲロウ、ミズムシ、アメンボウ、マツモムシ、ハイイロゲンゴロウ、ヒメガムシ、ヤゴ（シオカラトンボ）、トビゲラの巣、

植物採集の時⇒クマゼミ、アブラゼミ、ニイニイゼミ、アオバハゴロモ、アシナガバチ、

◎魚

メダカ、ドジョウ

◎貝

ヒメタニシ、カワニナ、シジミ

◎その他

オタマジャクシ（ダルマガエル・ウシガエル・トノサマガエル）ザリガニ、アメリカツノウズムシ（外来）、ヒル、アオミドロ、エラミミズ

**【観察会の様子】**



【左】川の生き物の観察



【右】身近な植物の採集

【行事名】 日長川の観察会 ● 知多市社会福祉協議会 主催

【日時】 2013年8月22日(木) 9:30 ~ 11:30

【場所】 知多市日長川

【天気】 晴れ

【担当】 大野、中井康、吉房

【参加者】 一般 大人15名、子ども15名、社会福祉協議会 3名  
(指導員：大野、中井康、吉房)

【内容】

連日35℃を越す猛暑日の中、水に入れば子供達は大喜びである。すぐにウナギ名人の大野さんがウナギを捕まえたので、一段と張り切りがまして網を元気にすくっていたが、2匹目のウナギは捕まらなかった。しかし、全員が色々な生き物を捕らえることができよかった。気温が高いので30分毎に水分補給に心がけ、ザリガニを手で初めて捕まえて大喜びの子、エビに触れて嬉しそうなお子、蟹の巣を見つけて出てくるのをじっと見ている子等様々であったが、暑さを忘れ夢中になっていたのがなによりである。最後にテントの下へ集まり、中井さんの説明を聞いた。今年は、テントが2張りあり、涼しいので皆熱心に聞いていた。(記：吉房)

【観察した生き物】

◎貝の仲間

イシマキガイ

◎エビ・カニの仲間

テナガエビ、ミゾレヌマエビ、アメリカザリガニ、ベンケイガニ、モクズガニ

◎魚の仲間

ゴクラクハゼ、カダヤシ、ウナギ

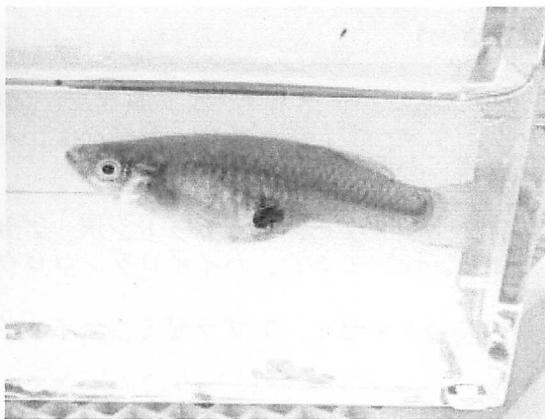
◎その他

ヌマガエル

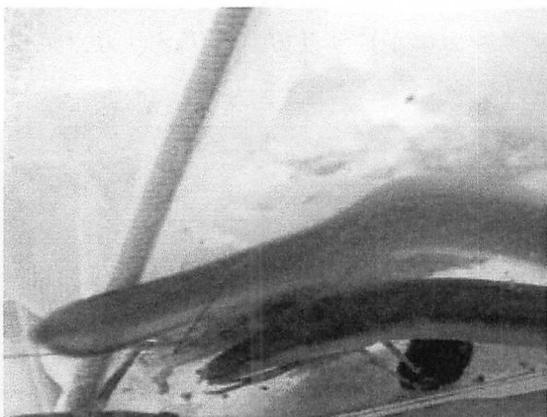
【観察会の様子】



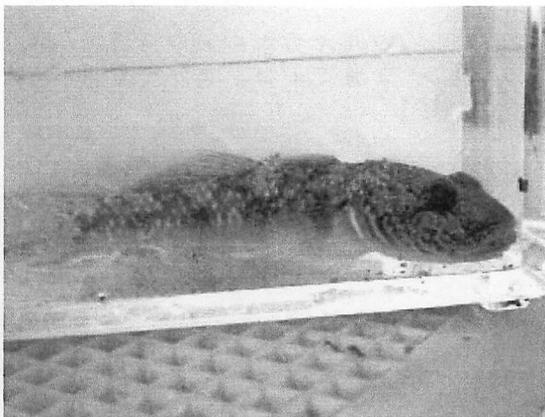
【左】 熱中症対策



【右】 カダヤシ♀



【左】 ウナギのUターン



【右】 ゴクラクハゼ

【観察会続き】

【行事名】 「見つけよう、秋の生き物たち」 知多市立旭北小学校

【日時】 2013年10月18日 10:30~12:25

【場所】 知多市旭北小学校 校庭と敷地内道路

【天気】 曇り

【担当】 大野

【参加者】 2学年生徒 88名 保護者 約40名 担任5名

(指導員：降幡 森田琢 平田 山田絹 大野)

【内容】

台風が去った後、気温が急激に下がり、曇り空のため観察会が始まる前までは肌寒い感じでした。いざ観察会が始まると生徒たちの活発な動きに誘われてちょうど適温になり、蚊の攻撃もなかったので、じっくりと観察できました。校舎の昇降口に集合して講師紹介と諸注意などの後、5班に分かれてそれぞれの観察コースに向かいました。黄土色の実のついているつる草の臭いを嗅いだ感想を聞くと「うんちの臭い」という回答に「ヘクソカズラ」と紹介すると笑いガはじけました。ヤイトバナという地方もあるとちよびり弁護しました。ハランの葉をぎざぎざに切ってどこかで見たことはありませんかと問いかけて、すしや弁当に使われているという回答を引き出し、昔はハランを使っていたことを話しました。残った葉っぱを笛にしてならしてみました。トウカエデの実を放り投げて、くるくる回るのを観察したり、シャリンバイの実やイヌビワの実をナイフで切って中を調べたりしました。ブラジルヤシの実を煉瓦で叩いて割り、中身を調べました。茶色の種が入っていました。他にはゲッケイジュやクスノキの葉っぱの臭いを嗅いだり、エンジュの実の皮をむいて小さなインゲンマメのような種取り出したりしました。観察というより実験のような観察会になりました。(記 大野)

【観察した生き物】

◎植物

1 実や花からとりあげた生きもの

ヘクソカズラ、ナンキンハゼ、クロガネモチ、トウカエデ、スズカケノキ、モミジバフウ、ウツギ(ウノハナ) シャリンバイ、ツバキ、イヌビワ、カリン、エンジュ、クヌギ、カラタチ、ナツメ、ワタ、ブラジルヤシ、カキ、サルビヤ、ジンジャー、ツユクサ、セイヨウタンポポ、ホテイアオイ、ソテツ、ニシキギ、オニグルミ、サングジュ、ヒノキ、アベマキ、ハブソウ、ノキシノブなど

2 葉っぱからとりあげた生きもの

メタセコイア、ハラン、キョウチクトウ、ゲッケイジュ、ヒイラギ、タイサンボク、カヤ(ススキ) ユズリハ、クスノキ、カイズカイブキ、ギョリュウ、カシワ、サルスベリ、ハンテンボクなど

◎昆虫

ゴミムシ、ナナホシテントウ、オカメコオロギ、エンマコオロギ、オンブバッタ、モリチャバネゴキブリ、カメムシ

◎鳥

ハシボソガラス、ヒヨドリ、モズ

◎その他

カワラタケ、カワウソタケ、アマガエル、オカダンゴムシ

【観察会の様子】



【左】 整列しましょう



【右】 こんな面白いものがあつたよ



# 調査 & 結果

---

## 【6】川の生きもの(須賀川-東浦)(2013年調査)…担当:浅井一

### 1. 「川の生きもの」を調査の対象にした理由

2011年度と2012年度の2ヶ年続けて〇〇川で■■■が捕獲できました。

知多自然観察会の川の生きもの観察会は半島内で例年8ヶ所+ $\alpha$ で実施していますが■■■が捕獲できたのは〇〇川だけです。

そこで、ほかにもこのようなことがあるかもしれないと考えて…会員で頑張ってみることにしました。調査と言うより好奇心からくる挑戦ですね。

“柳の下にドジョウ”かもしれませんが“二度あることは三度”とも言いますので計画しました。ご協力よろしくお願いします。

### 2. 調査計画

・調査対象の川…須賀川(東浦町)

・実施日時

(1回目)……6月16日(日)13:30～

(2回目)……6月30日(日) 9:30～

・集合場所……南部ふれあいセンター駐車場→[ここ](#)

・備考

捕獲した魚などの写真を撮りたい方は各自で必要なモノを持参ください。

### 3. 調査結果

#### <1回目>

・参加者:浅井一, 竹内秀, 岩本, 大野, 森田博, 桑原, 榊原正

・結果:知多半島で“初めて”という獲物はなかった

・調査記録→[ここ](#)…PDFファイル

#### <2回目>

・参加者:浅井一, 岩本, 大野, 榊原正, 門脇, 南川, 吉房, 田中和家族3名, 降幡

・結果:知多半島で“初めて”という獲物はなかった

ただし、知多半島では極めて稀な種をゲット(種名は記録に挙げないが…)

・調査記録→[ここ](#)…PDFファイル

---

記録用紙 (調査記録1)

市町村名:東浦町 (愛知県)

団体名:知多自然観察会

河川名:須賀川

調査者名:浅井一光 (ほか、6名)

調査場所名	南部ふれあいセンター近く	年月日(時刻)	2013年 6月 16日(14:00)
天気	: 晴れ	生物を採集した場所: 魚の隠れていそうな箇所	
水温(°C)	: 29.3°C	生物採集場所の水深(cm): 10~30cm	
川幅	: 3m (水流幅)	水のにごり、におい、その他: にごり、におい→特には気づかない程度	
流れの速さ	: 1.8m/分		
川底の状態	: 泥		

水質	指標生物	指標生物の数	水質	指標生物	指標生物の数
きれいな水 水質環境Ⅰ	1. カワゲラ類		きたない水 水質環境Ⅲ	1. ミズカマキリ	
	2. ヒラタカゲロウ類			2. ミズムシ	
	3. ナガレトビケラ類			3. タニシ類	
	4. ヤマトビケラ類			4. シマイシビル	△
	5. アミカ類			5. ニホンドロソコエビ	
	6. ヨコエビ類			6. イソコツブムシ類	
	7. ヘビトンボ		とてもきたない水 水質環境Ⅳ	1. ユスリカ類	
	8. プユ類			2. チョウバエ類	
	9. サワガニ			3. アメリカザリガニ	○
	10. ナミウズムシ			4. エラミミズ	
ややきれいな水 水質環境Ⅱ	1. コガタシマトビケラ類		5. サカマキガイ		
	2. オオシマトビケラ		その他の生物 <魚> ・フナ      ・モツゴ      ・タイリクバラタナゴ ・カダヤシ      ・ウナギ      ・ドジョウ		
	3. ヒラタドロムシ類				
	4. ゲンジボタル				
	5. コオニヤンマ				
	6. カワニナ類				
	7. ヤマトシジミ				
	8. イシマキガイ				

<水草> ※チェックしなかった	<鳥> ※チェックしなかった
--------------------	-------------------

<上記以外の生物>  
・スジゲンゴロウ    ・コオイムシ    ・アメンボ    ・マツモムシ    ・ヒルの仲間

<その他気づいたこと>  
・川の片側にロープ製の「ふくろ籠」(岩石入り)が並べられていた。比較的最近の施工と思われる。

記録用紙 (調査記録2)

市町村名: 愛知県東浦町

団体名: 知多自然観察会

河川名: 須賀川

調査者名: 浅井一光 (ほか、10名)

調査場所名	ふれあいセンターの近く	年月日(時刻)	2013年 6月 30日(9:50)
天気	: 晴れ	生物を採集した場所: 水の流れの中、草の根もと	
水温(℃)	: 28.0℃ 水温 22.9℃	生物採集場所の水深(cm): 20~30cm	
川幅	: 2~3m (水の流れている幅)	水のにごり、におい、その他: ・にごり…澄んでいるが歩くと、即、濁る ・におい…特には気づかない ・その他…川の片側にロープ製箆網(石が詰められている)が配置してある	
流れの速さ	: 9m/分		
川底の状態	: 砂泥		

水質	指標生物	指標生物の数	水質	指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質環境 I	1. カワゲラ類	きたない水	1. ミズカマキリ	
		2. ヒラタカゲロウ類		2. ミズムシ	
		3. ナガレトビケラ類		3. タニシ類	
		4. ヤマトビケラ類		4. シマイシビル	△
		5. アミカ類		5. ニホンドロソコエビ	
		6. ヨコエビ類		6. イソコツブムシ類	
		7. ヘビトンボ	とてもきたない水	1. ユスリカ類	
		8. ブユ類		2. チョウバエ類	
		9. サワガニ		3. アメリカザリガニ	○
		10. ナミウズムシ		4. エラミミズ	
ややきれいな水	水質環境 II	1. コガタシマトビケラ類	その他の生物 <魚> メダカ、カダヤシ、ドジョウ、タモロコ、 ビリンゴ、ライギョ(幼)、タイリクバラタナゴ フナ、トウヨシノボリ	5. サカマキガイ	
		2. オオシマトビケラ			
		3. ヒラタドロムシ類			
		4. ゲンジボタル			
		5. コオニヤンマ			
		6. カワニナ類			
		7. ヤマトシジミ			
		8. イシマキガイ			

<水草> ※調査せず	<鳥> ※調査せず
<水生昆虫> コカゲロウ、ミズアブ(さなぎ)、コシマゲンゴロウ、コオイムシ マツモムシ、スジゲンゴロウ、ヒメアメンボ、ガガンボ(幼虫)	
<その他> ヌマエビ、スジエビ、ミゾレヌマエビ、アメリカザリガニ、 ミシシippアカミミガメ、ドブガイ、ハバヒロヒル	
<その他気づいたこと>	

知多自然観察会「掲示板」 2013.1.4 ~ 2014.12.31

※ 写真および本文へのレスポンス（第三者からのコメント）は省略しました。

全194件中1~10（ページNo.1）

<b>シュロの自生が目立つ</b>	masami (60代後半) @半田市	12/30(月) 22:31:53
<p>写真…自生えのシュロの株（クリック→大サイズ）                      12月の里山整備は相変わらず孟宗竹やその子生えを切っているが、今年はやたらシュロの自生が目立つのでそれを切っている。さほど広い面積ではないが既に百や二百は切ったはず。                      シュロが増えるのは温暖化のせいじゃないかと指導員の一人が言っていたが当たらずとも遠からじと思える現象だ。いずれにしても、このまま成長させると、林下のベニシダなど覆ってしまっていて異様な雰囲気になってしまうので行くたびにセッセと切ってる訳です。（今日2013.12.30も切ってきた）</p>		
<b>ムクロジの実</b>	masami (60代後半)	11/30(土) 20:39:41
<p>地図上で19号線を岐阜県から愛知県に入ったところ（春日井市）に「都市緑化植物園」を見つけたので寄ってみた。樹木に名札が設置されていた。ムクロジの木が1本あり、実が落ちていた。ことしは既に蒲郡でたくさん拾ってストックは十分なのだが、ムクロジの木はあちこちに無いので、ついつい、拾ってしまった。                      遊具で遊んでいた親子連れが「何ですか？」と話しかけてきたので「無患児（ムクロジの当て字）と書くので子どもに持たせるといいですよ」と言う話したら子どもと一緒に拾っていた。天気の良いさに誘われ立ち寄ったがいい拾いものができる。</p>		
<b>自然界ではあってはならないことが！</b>	おおやみき (50代後半) @名古屋市	10/22(火) 08:57:22
<p>10月の名古屋市山崎川の調査で見つかったハナガメ×クサガメの交雑種。ひじょうに珍しいものですが、喜ぶものではありません。</p>		
<b>巨大ムレオオイチョウタケ</b>	フリミツ (70才以上) @常滑市	10/19(土) 18:05:10
<p>日本山岳会が活動している「猿投の森」で大きなキノコを採取したとのこと。電話で名前を聞かれました。今までの体験からマントカラカサタケかつエタケだろうと回答しました。持参したキノコを見てびっくり、今まで見たことのない巨大キノコでした。感じとしてキシメジ科のものであろうと思い調べたところムレオオイチョウタケとしました。今回大きさの感じを記録するために公民館に勤めて方と一緒に撮影しました。なお、このキノコは有毒菌ではないが香りが悪く食用は不向きとしてありました。</p>		
<b>新潮文庫のポケット図鑑</b>	おおはし	10/3(木) 14:42:26
<p>本屋で新潮文庫ポケット図鑑「親子で楽し身近な生き物」「散歩で出会う花」「野鳥」の三冊を見つけた。どれも七百年程度の安価で楽しい本だった。まさか新潮文庫にこんな自然観察の本が出ているとは予想もしていませんでした。</p>		
<b>美浜町古布の畑にナツアカネ</b>	フリミツ (70才以上) @常滑市	9/25(水) 08:11:47
<p>美浜町古布で少しばかり野菜を作っています。毎年この時期に植栽したヒガンバナが咲き、赤とんぼが現れます。本日、9/24にナツアカネを確認できました。今年、7月下旬に伊吹山に行った時、やっとアキアカネを一頭確認しました。8月下旬（曇）に行ったときは確認できませんでした。確実に年々少なくなっているようです。ネオニコチノイド関係でしょうか気になります。畑の隅に植栽したフジバカマに毎年アサギマダラが訪れますが、昨年は見ることができませんでした。今年はどうでしょう。</p>		

ハリガネムシとカミキリの死骸	フリミツ (70才以上) @常滑市	9/18(水) 08:10:43
<p>台風18号が去ったので畑に行きました。畑に放置してあったバケツに雨水がたまりハリガネムシが二匹動いていました。中にハラビロカミキリが溺死していました。ハリガネムシはよくハラビロカミキリに寄生しているみたいです。水に浸けるとハリガネムシが出てくるのでしょうか。ツチバチの仲間も溺死していました。</p>		

変な幼虫、何でしょう	フリミツ (70才以上) @常滑市	9/15(日) 20:06:28
<p>野菜のモロヘイヤを整理していたら這い出してきました。他の野菜も整理していましたが食草はモロヘイヤではないかもしれません。ご存知の方が見えたら教えてください。追加説明。虫は長さ10mm少しです。</p>		

ごま豆腐の木	おおはし	8/27(火) 08:17:27
<p>あるホームページをみていたら、クサギの葉をもんで嗅ぐと、ごま豆腐のかおりがするとあり、さっそく嗅いでみて納得。観察会ではクサギは臭い木で終わりとなりますが、ごま豆腐はいいですね。還暦をむかえぼちぼち指導員も定年かなと思い、最近をよくお寺巡りで御朱印を集めるのが新しい趣味となりましたが、お寺でいただくごま豆腐もいいものです。</p>		

「オオヤマレンゲ」	鳥人的岳人！	7/15(月) 16:33:54
<p>憧れの、「名花」である「オオヤマレンゲ」に逢いに「吉野熊野国立公園」の「大峰山脈」へ遠征してきました。標高1000メートルの山地帯～標高1900メートルの亜高山帯まで、その植物の変遷が教科書的に移り変わる様が手に取るようにわかる山でした。別名「天女草」と呼ばれるようです。</p>		

全194件中11～20 (ページNo. 2)

ジャガイモの中の幼虫	フリミツ	6/25(火) 07:27:08
<p>ジャガイモを収穫したら穴が開いていました。その穴から幼虫が出てきました。何でしょう。甲虫の一種と思いますが……</p>		

アカテガニとベンケイガニの甲羅	おおはし	6/9(日) 14:47:59
<p>今朝のNHKラジオで、アカテガニの甲羅が不二屋のペコチャンのへノへノモヘジで、ベンケイガニの甲羅がアンパンマンの顔だと言っていたようだ。車を運転しながらきいたお話なので聞き間違いかもしれないが。面白い子供の観察力でした。</p>		

このウミウシは何？	大矢美紀 (50代後半) @名古屋市	5/25(土) 20:16:41
<p>きょう、南知多聖崎の弘法大使像の下にこのウミウシがなんと6匹もいました！キヌハダウミウシでしょうか？</p>		

亀さんゆったり…春本番？	masami (60代後半) @半田市	3/8(金) 22:56:20
<p>おととい、きのうに続き今日も春本番。運動を兼ねて自転車で市内の散策。掲載写真はアカミミガメの“こうら干し？”。別に特に珍しい光景でもないと思いますが、他に珍しい光景にも出会わなかった……。 </p>		

白いアメフラシが・・・	大矢美紀 (50代前半) @名古屋市	4/5(金) 23:01:07
師崎にはアメフラシがたくさんいる。海藻をたべてしまう厄介者だそう。でも白いアメフラシは初めて見た。黒っぽい部分もあるので、アルビノではなさそう。なぜ??		

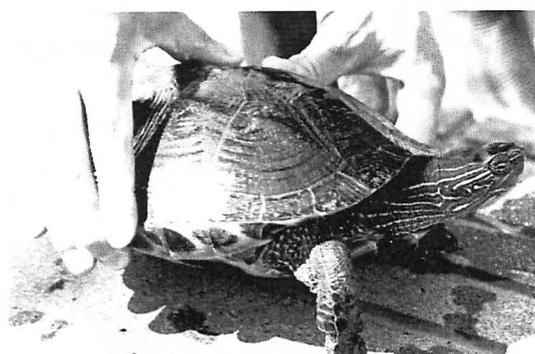
タケノコの季節となりました	masami (60代後半) @半田市	4/2(火) 16:52:56
本日(2013.4.2)、わずかに出ていたタケノコの頭を2ヶ見つけたので採ってきました。ついでに、周りも探してみましたが無かったです。もっとも、枯れ葉がいっぱい積もっているところなので枯れ葉の下にはあったかも知れません。		

アサギマダラと宗教	おおはし	3/20(水) 19:58:16
本日県の協議会の講演で、大阪の博物館の先生のアサギマダラのお話をお聞きした。アサギマダラや他の昆虫が伊良湖岬の日の出の門から神島、伊勢神宮へと渡りをするお話でした。私のいる知多半島の野間には富具神社があり、ここの神主は私の友人です。この神社は秋にアサギマダラのマーキングで知られていました。この蝶はマーキングにより沖縄まで飛んでいくことが分かってきました。でも私はそんなことよりも、この富具神社は「風の神様」が祀っており、アサギマダラは沖縄まで遠く旅をするのに先立ち、風の神に参拝し、さらに伊良湖神社に立ち寄り、神の島を経由し、伊勢神宮にお参りして旅の安全を祈願して飛んで行くように思えてなりません。宗教心の強い蝶なのでしょう。		

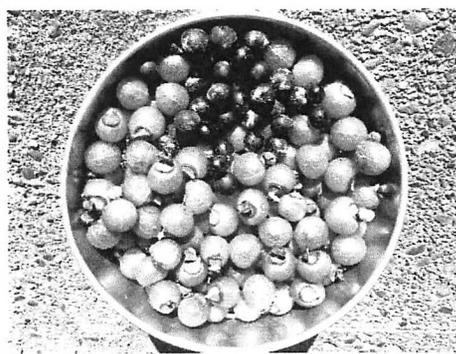
寒い海にクラゲがたくさん!	大矢美紀 (50代後半) @名古屋市	2/3(日) 20:27:32
師崎朝市の前の海にクラゲがたくさんいました。近くまで寄ってきたので写真を撮りました。オワンクラゲは、南知多でたまに見ますが、あまり多くないように思います。カミクラゲは、昨年あたりからよく見かけています。		

ヒヨドリガモ?	中村 康 (60代前半) @常滑市	3/1(木) 04:19:54
武豊の長成池で撮影しましたヒヨドリガモ?ちょっと自信がありません。もし間違ってしまったら、どなたか正式名を教えてください。撮影日は2月27日です。いま、時間があれば望遠レンズを持ち歩いて、身近な生き物たちを撮影するという子供の時からの夢を楽しんでおります。ディズニーの”砂漠は生きている”、ジャン・クストーの”沈黙の世界”と言った記録映画の影響ですね(笑)。		

美浜町からのアルプスのやまなみ	フリミツ	1/4(金) 12:39:29
冬になると知多半島から中部山岳の山が良く見えます。特に午前より、午後の方が見やすいです。新年の初日の出ではありませんが紹介しました。		



10/22(火) 自然界ではあってはならないことが!  
ハナガメ×クサガメの交雑種



11/30(土) ムクロジの実

## 発表の場

知多自然観察会が実施する行事ではなく、会員個人の体験や活動したことを掲載しています。  
※会員個人からの投稿をアップするページですがご覧のように平 25 の投稿者は一人でした。

---

【テーマ】	【投稿者】	【投稿日】
【クロバイの実】	榑原正躬 (平成 25 年 11 月 14 日)	
【オオカマキリの大まかな同定ポイント】	榑原正躬 (平成 25 年 11 月 7 日)	
【キアゲハ&アゲハの写真 (1枚ずつ)】	榑原正躬 (平成 25 年 7 月 15 日)	
【シンジュ (ニワウルシ) の真冬の姿】	榑原正躬 (平成 25 年 2 月 27 日)	
【金子みすゞの童謡 (詩)】	榑原正躬 (平成 25 年 1 月 13 日)	

---

以下は上記ページのテキスト (文字) だけの紹介です。(写真はカット)

### 【クロバイの実】

春の知多半島の丘陵地で白い花で樹冠を白くみせているのがクロバイです。  
ところがそのクロバイの実を私は認識することなく今日まで来たため頭上(4~5m)の実を付けた樹木(下の写真)の名が分からなかった。

(参照→<http://chitakan.com/kansatu3/handa131027/index.html>)

結果的にはこの木はクロバイでした。そこで、クロバイの実の写真を紹介します。十分ご承知の会員も何名かいるかとは思いますが…(^\_^;) )

<補足>

石をぶつけて、葉っぱを拾うことが出来れば葉っぱでクロバイと分かる。それをしなかった。今回、樹皮では樹皮の特徴が余り出でおらず分からなかった。結果的には(よく比べてみれば)この木の樹皮もクロバイの樹皮の様子としては許容範囲だったが…。なお、この木の隣に典型的なクロバイの樹皮をした比較的大きなクロバイの木があったのだがその木には実が無かった(※写真のように目立ってなかった)

後日、何本ものクロバイの木で実を見つけようとしたが、なかなか、肉眼では発見(確認)できなかったことを付記しておきます。

※クロバイの花→<http://chitakan.com/kansatu/handa070422/index.html>

### 【オオカマキリの大まかな同定ポイント】

腰痛で二日間家から出られず、三日目の夕方から回復し、四日目、いい天気だったので郊外に出かけた。車を止めて降りたら、カマキリが歩いていた。

オオカマキリと思って“証拠”を見てみた。思った通りの証拠を確認したのでオオカマキリと断定した。もっともホントにオオカマキリかどうかは…?

下記掲載のカマキリ写真は同一個体のカマキリです 2013. 11. 07 撮影

証拠 1…内側の羽の色がのようにクロっぽい紫色

証拠 2…前脚の付け根の色が黄色っぽい…赤っぽい(柿色っぽい)のはカマキリ

### 【キアゲハ&アゲハの写真 (1枚ずつ)】

過日、宮古島にいったときにアゲハの仲間の蝶がどこかに止まるのを待って撮った。止まっても近づけばすぐ飛び立つ。それでも2, 3種類は撮ったはず。ホント、暇だったので…(^\_^;) )

そのときの根性(忍耐力?)を思い出してキアゲハに挑戦しました。つかまえて撮れば簡単だけどそれでは標本写真になってしまいオモシロくないので止まるのを待ったのでした。暇でないといけないことです…。

<何のヘンテツもないアゲハの写真をアップする理由>

① 7/10あたりからアゲハが安心してきって飛んでいる(in 我が家の狭い庭)

② 翌日よく見ていたら、キアゲハも来ていることに気づいた。

キアゲハの写真は手持ちがないので何とか撮ろうと頑張った。

③ しかし、止まることなく飛び続けるため、シャッターチャンスが訪れない。

(連日の暑さの中、待つのは大変)

④ 7/14にキアゲハが近く(1m以内)に止まってくれた。さっそく撮った→掲載写真

⑤ 7/19にはアゲハが止まっているのを見つけゆっくり近づいて撮った→掲載写真

早い話、偶然、2種類そろったので、比較するにも丁度よいと考えアップするわけです。  
それに撮った日が真夏なので“夏型”のサンプルとしても見るができると思います。

【シンジュ (ニワウルシ) の真冬の姿】

※神樹(しんじゅ)は Tree of Heaven という西洋の俗名を直訳したもので、この木に対して我が国で最初につけた名である」(牧野植物図鑑より)

過日(2013.2.17) ヤボ用で愛知県図書館に行ったとき、玄関近くの国道沿いや堀の土手下に“白い花?”を満開にした木があったので(写真参照)、館内の受付でその木の名前を聞いたところ、そこでは、判らなかつた。

館を出てから、その木の近くに行って見たら、“花”ではなく“種子(翼果)”だった。それを拾って、帰宅後、その種子が何の木なのかネットでチェックしたところ、「シンジュ(ニワウルシ)」であった。ニワウルシは知多半島にも野生の幼木があり見たこともあるがこのような姿は初めてだったので本日(2013.2.27)ここに紹介することにしました。

なぜ本日の紹介になったかは…、過日行ったときは携帯やカメラを持参していなかったので雨のち晴れの予報の本日午後撮りに行った…というだけです。

ところで、図鑑を見るとニワウルシは雌雄異株で「果実に薄いはねがあり、長さ4~5cm、中央に種子がある」とある。図鑑を1枚ずつしっかり見れば判ったかも知れないがつついネットに頼ってしまった。

【金子みすゞの童謡(詩)】

素晴らしい詩を私から紹介すると急にダメなものになりそうで控えておりましたが、意を決して紹介することにしました。

というのは、非常に共感したからです。この詩を見ると今でも…ホントにそうだよな…っと語りかけてしまいます。

まっ、これ以上説明するとホントにダメになるのでこの辺で…

草の名	人の知ってる草の名は、 わたしはちっとも知らないの、 人の知らない草の名を、 わたしはいくつも知ってるの。 それはわたしがつけたのよ、 すきな草にはすきな名を。 人の知ってる草の名も、 どうせだれかがつけたのよ。 ほんとの名まえを知ってるは、 空のお日さまばかりなの。 だからわたしはよんでるの、 わたしばかりでよんでるの。
-----	---

共感した別の詩→ここ

金子みすゞの代表作→これとこれ…金子みすゞの紹介に代えて

音声朗読→ここ…YouTube

毛筆文字→ここ…Net上からのコピー

<参加 (エントリー) 指導員>

- 1 浅井一 2 岩本 3 大野 4 加藤美 5 門脇 6 桑原 7 榊原正  
 8 竹内秀 9 中井三 10 畠 11 平松俊 12 降幡 13 古川 14 南川  
 15 森田琢 16 山田絹 17 吉房

1. テーマ 公園の生きものを観察しよう (半田市 任坊山公園)

2. 実施日 2013年10月5日(土) ※指導員集合時刻は晴天と雨天で異なる

3. 日程 【晴れの場合】

(1) 指導員集合 8:30 任坊山公園 駐車場

※駐車場→芝生広場 本部・受付場所設置 (テント、机、筆記具、配布物など)

※指導員打合せ (榊原正) ※簡単に…

※観察に必要な物や水筒等は各自持参

(2) 一般 受付 9:10 ~ 9:30

配布物 タモ (家族で1ヶ) レンズ付き観察容器 (子ども1ヶ)

リーフレット2種類 (家族で各1枚)

(3) 開会行事 9:30 ~ 9:50 進行 (県民セ) ※ハンドマイク使用

挨拶 主催者 (県民セ環境保全課)

挨拶 観察会代表 (南川)

日程等 日程説明、解散後のアンケート、注意事項、配付物ほか… (榊原正)

(4) 観察 10:00 ~ 11:00 (11:20) ※説明や五感体験は班ごとに…

(5) 解散 11:00 ~ 11:20 ※本部前でグループごと解散→アンケートに参加

※アンケートの混雑を避けるため本部前で11:00~11:20の間で解散する

(6) アンケート 本部テント内 (県民セ環境保全課)、筆記具の準備 (南川)

(7) 反省会 (11:50 芝生広場隅のアズマ屋)

4. 役割分担

< I 担当グループ >

・ 1班… (岩本、浅井一、大野) B ・ 2班… (吉房、門脇、降幡) B

・ 3班… (竹内秀、古川、森田琢) A ・ 4班… (中井三、平松俊) A

・ 5班… (山田絹、畠、榊原正) D ・ 6班… (加藤美、桑原、南川) D

※ 枠囲い…薬品バック係 (榊原正→加藤美) ※ 雨天の薬バッグは榊原正1ヶのみ

※ 下線……班から離れる場合が多い ※ A, B, D…観察コースの出発地点

< II 駐車場～受付～開会式～その後 >

(1) 駐車場 (畠、浅井一) 芝生広場 (受付) への案内も ※トイレは公園のトイレ

(2) 受付… (岩本、山田公、中井三)

配布物…たも (家族1)、レンズ付き観察器 (子ども)、リーフレット2種類 (家族1)

希望者に記名をさせる。班を知らせる。トイレに行くように促す

(3) 参加者の整理… (吉房、南川、降幡)

※開式時刻には指導員は担当の班の前に立つ ※班の位置に小旗 (1~6の旗) を準備

(4) 観察会代表挨拶 (代表 南川) ハンドマイク1ヶの準備 (南川)

(5) 日程、諸注意… (榑原正) ※観察会の流れ、配付物について、注意事項、出発指示

(6) 本部テントの見守り… (榑原正)

(6) 観察中の説明… (担当指導員で協力) ※レンズ付き観察器やリーフレットの積極使用

(7) 主な観察物の種名のメモ報告→榑原正 (大野、門脇、竹内秀、中井三、島、加藤美)  
※メール連絡OK

(8) 記録写真 (降幡)

(9) 報告書作成 (榑原正)

### <Ⅲ 諸準備>

(1) 受付及びアンケートに必要なもの…

- ・ 本部用テント2 (吉房1, 竹内秀1)、受付名簿 (南川)、ゴミ袋 (榑原正)
- ・ 駐車場案内立て看板1, 受付場案内立て看板1 ( 島 )
- ・ ポータブル折りたたみ机5 (島3, 大野1, 榑原正1)、班分け用の小旗6ヶ (榑原正)
- ・ 蛍光ペン, 名前ペン6, アンケート用鉛筆20本 (南川)

(2) 配布物…タモ40本, レンズ付き観察器80, リーフレット2種各99枚… (榑原正)

※リーフレットは「公園や野の生物」「きのこ, セミの抜け殻」の2種

(3) 駐車場案内プレート (榑原正)

(4) 自然観察会の旗 (縦横各1) ( 島 )

(5) 雨天対策用

- ・ ブルーシート (3.6m×3.6m 6枚), ゴミ袋, 作品入れ用レジ袋小… (榑原正)
- ・ プンブンごまセット80ヶ以上… (大野)、ゴム銃セット80ヶ以上… (榑原正)

5. その他

(1) 当日の連絡先 榑原正 (090-9336-3788) 県民センター担当 (090-5870-4520)

(2) 近くの医院 ・久保田小児科 半田市天神町50-2 0569-21-0634

・ 辻整形外科・外科クリニック (内科も) 半田市栄町3-143 0569-26-2227

※救急医療情報センター 0569-28-1133 (名古屋市にある愛知県救急医療情報センターにつながる) ※救急車を呼ぶ→119番

(3) 任坊山公園の地図→ラストページ

### 4. 日程【雨天の場合】

(1) 指導員集合 8:45 半田空の科学館玄関の軒下 (※開館9:00) ※空の科学館駐車場を使用  
指導員打合せ (榑原正) ※簡単に  
任坊山公園駐車場に移動 (島、浅井一)  
道路立ち番箇所へ移動 (門脇、古川、森田琢)

(2) 会場準備 9:00~9:25 2階特別展示室にて 受付 工作会場の準備 (全指導員)

(3) 一般 受付 9:20 ~ 9:45 ※配付物は晴れの場合と同じ

(4) 開会行事 9:50 ~10:00 進行 (県民セ) ※ハンドマイク使用

挨拶 主催者 (県民セ環境保全課)

挨拶 観察会代表 (南川)

日程説明等 (閉会後のアンケートのことも) … (榑原正)

- (5) 工作 10:10 ~ 11:20 ・ブンブンごま ・ゴム銃 (パチンコ)  
 ○材料・つくり方・注意など…ブンブンごま (大野) ゴム銃 (榊原正)  
 ※ 指導員は臨機応変に補助  
 ・ブンブンごまの穴の開け方、ブンブン回るまでのやり方  
 ・枝に輪ゴムの結び方、ゴム銃の撃ち方…安全に配慮しながら
- (6) 記録撮影 (降幡)
- (7) 閉会式 (主催者終わりの言葉) …とりあえずの終了 (解散) 宣言…中々みたいなもの  
 ※遊びたい子にはゴム銃の的あて遊びを許可…アンケートに殺到させないための工夫の一つ
- (8) アンケート
- (9) 片付け
- (10) 反省会 11:50~

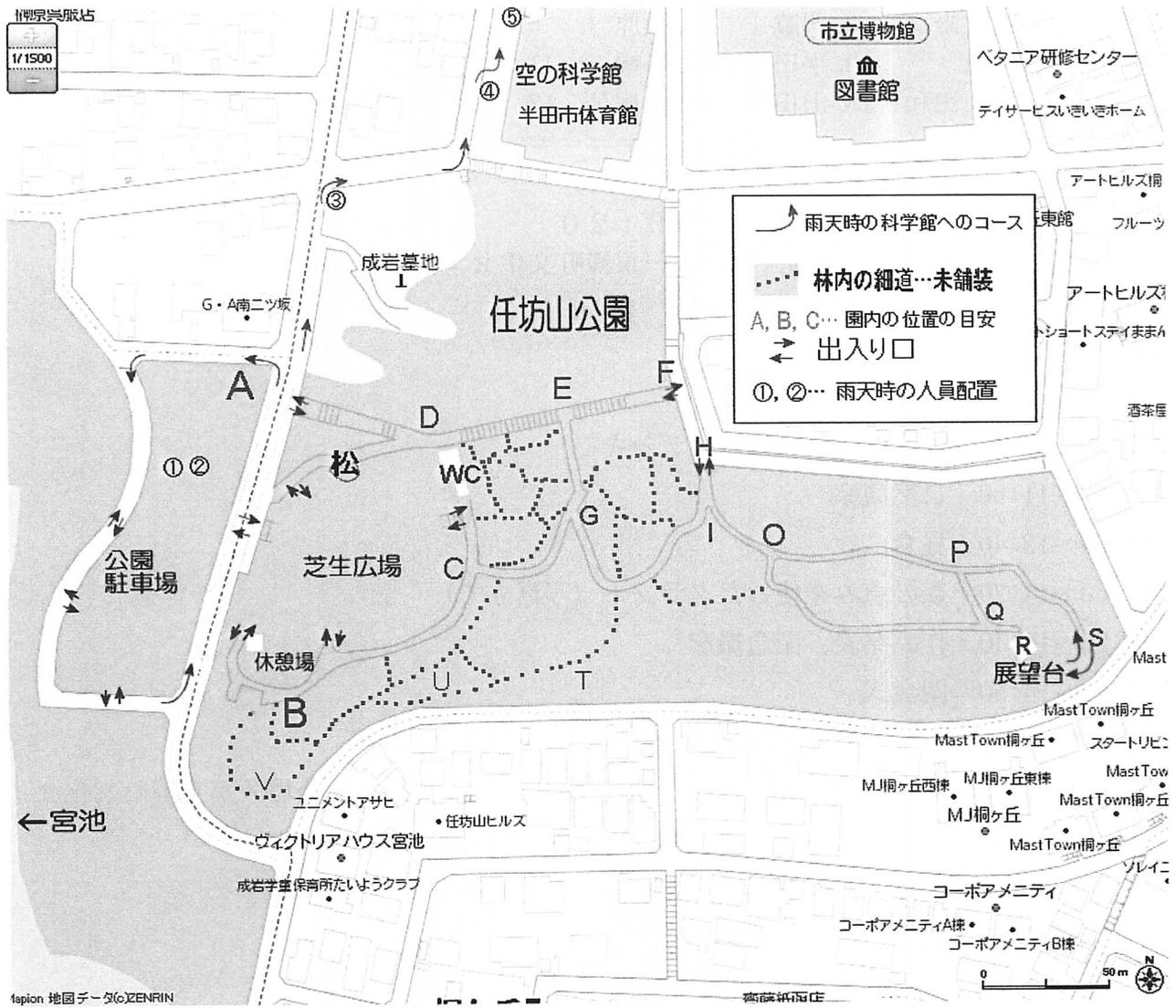
●開会式の並び方 及び 工作会場

- ① 開会式の並び方
- ② 各班の作業場

※サンプルや材料機の配置は当日の朝、指示 (機の個数は現時点未定)

ステージ ※空の科学館は無い					
6 班 ↓	5 班 ↓	4 班 ↓	3 班 ↓	2 班 ↓	1 班 ↓
ブルーシート  2班					
ブルーシート  4班		ブルーシート  3班			
ブルーシート  6班			ブルーシート  5班		

○任坊山公園の地図



<観察会スタートの方向> ※展望台まで行って帰ってくるのが普通のコース

- ・ Aあたりから… 4班 3班（逆回り）
- ・ Bあたりから… 1班 2班
- ・ Dあたりから… 5班 6班

<雨天時の人員配置（案）>

【1】任坊山公園駐車場から徒歩で会場まで移動する場合

①&②…畠、浅井一 ③門脇 ④古川 ⑤森田琢…建物の西玄関（鍵を開けてもらう）

【2】任坊山公園駐車場に来た一般参加者の車を空の科学館駐車場に案内する場合

※参加者は正面玄関から入る→2階特別展示室

⑥駐車場前で「駐車場の案内プレート」を持って立つ…加藤美

※案内プレート…A3ラミネート加工のチラシ

<エントリー指導員>

1. 浅井一 2. 大野 3. 門脇 4. 桑原 5. 榊原正 6. 竹内秀  
7. 中井三 8. 畠 9. 平田 10. 降幡 11. 牧野 12. 南川  
13. 村瀬 14. 山田和 15. 山田絹 16. 山田公 17. 吉川洋 18. 吉房

- =====  
1. 実施日 平成25年10月19日(土)  
少年団受付 9:00~9:20  
2. 会場 晴天…於大公園, 雨天…東浦町文化センター  
3. 日程等

◎ 晴天時

- 9:00~ 9:20 受付  
9:30~ 9:45 開会式 ※水上デッキ  
9:45~11:50 自然観察  
11:50~12:40 昼食  
12:50~14:20 森の恵みを使ったクラフト (写真立て)  
14:20~14:40 作品発表、記念撮影  
14:40~14:50 閉会式

◎雨天時の日程

雨天の場合はクラフト工作のみの実施となります。また、集合場所が東浦町文化センターに変更になります

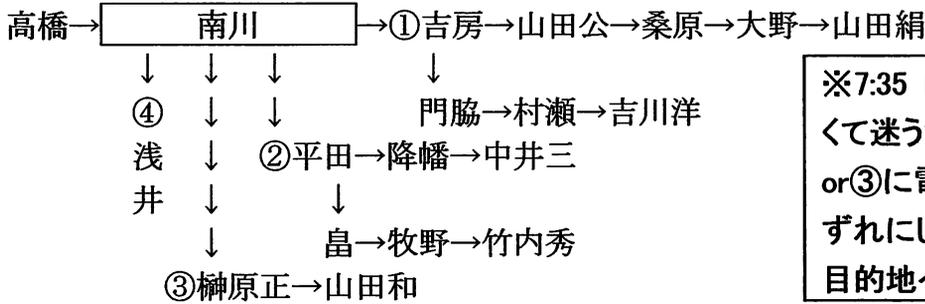
- 9:00~ 9:20 受付 ※以下すべて東浦町文化センター  
9:30~ 9:45 開会式  
9:45~11:30 森の恵みを使ったクラフト (写真立て)  
11:30~12:05 作品発表、記念撮影  
12:05~12:15 閉会式  
12:20~ 昼食 昼食を終えた団ごとに解散・帰宅

(以上は県民セ林務課と東浦町環境課で立案、進行)

<指導員の動き>

1. 指導員集合時刻 8:30  
① お弁当は各自持参  
② 第2駐車場が近くて便利…地図↓  
<http://chitakan.com/renraku/odai-kouen/index.html>  
③ 各自写真立ての飾り材料持参で集合  
④ 材料の置き場所→このはな館内の「講習室」  
⑤ 工作会場図→当日配付 (このはな館前の舗装上)
2. 雨天または強風のため雨天バージョン (文化センター) になる場合  
① 県民センター担当 (高橋氏) →南川氏へ電話連絡 (7:20 ごろまでには)  
② 南川氏→エントリー指導員へ下記「連絡網」を使って連絡

<雨天バージョン連絡網>



※7:35 になっても連絡がこなくて迷う場合は南川 or①or② or③に電話するのも一案。いずれにしても各自臨機応変に目的地へ…(^o^)/

3. 役割分担

○班の担当（2校以上の混合班、各班の子どもは18～20名）

I…浅井一	島	山田公	II…大野	門脇	III…榊原正	吉房
IV…桑原	竹内秀		V…山田和	中井三	VI…南川	牧野
VII…平田	村瀬		VIII…山田絹	吉川洋	降幡	

※下線……班を離れる場合が多い

※枠囲い…薬品バック（山田絹←榊原正） ・指導員は傷テープを各自持参

●山田和が都合で欠席の可能性大。その場合→[山田和]のところへ[浅井一]

○挨拶や説明等

- ・代表挨拶 (南川)
- ・日程説明、観察会諸注意 (竹内秀) ・写真立ての作り方や諸注意 (榊原正)
- ・記録写真 (降幡) ・ホームページ用の報告記事 (竹内秀)

○道具類ほか

- ・電動ドリル (平田) ※注文に応じて写真立てにひもを通す穴あけ係
- ・布ガムテープ (榊原正) ※段ボールの「写真立て立て」に使う
- ・ロープ&フック (榊原正) ※吊り下げ型写真立てを吊す
- ・愛用の剪定ばさみ (各自) ※何かと便利ですのであれば…ということ

○写真立てサンプルについて（下見時に依頼済み）

- ・“写真立て立て”を必ずしも作ってこなくてもよい  
→当日、“簡易立て立て”で立てます（榊原正が準備）
- ・昨年のサンプルをお持ちの方は持参ください。3. 指導員が各自持参する写真立ての

4. 各班のスタート方向 ※下記地図を参照。下見で決定します。

※芝生広場からA, B, C, D, Eのどの方向へスタートするか

※どの班も、普通、F, Gあたりまで行って戻ってくるハズ

※一方向へ複数班が向かっていっても、くっつかなければ、構わない

4. 留意事項

① “交歓会”なので、子どもたちが交流できるように配慮

- ・自己紹介を利用して
- ・観察会の中で
- ・工作の時間の中で

※工作の中では学校の先生に相談してもよいかも…

② グルーガンの使い方（タマの扱いなど）は各班で指導員が具体的に説明

③ 残った写真立て飾り材料は持ってきた人が、各自、持ち帰る

## 編集後記

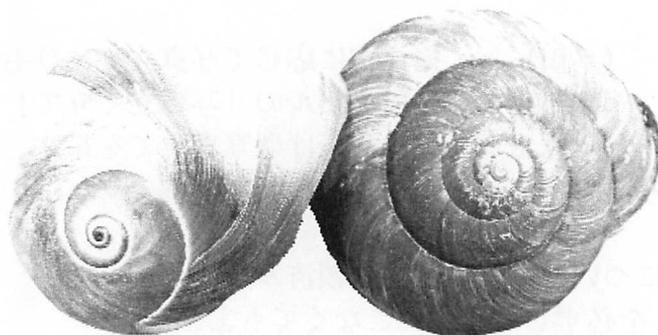
今回の年報も印刷製本を業者発注です。持ち込んだ原稿の写真印刷ですので誤字脱字やおかしなレイアウト等すべて出来上がりは編集者が編集したままです。

さて、今回も先回と同様、編集を若干変えました。

- ①これまでブロックの活動はブロック主催の観察会に他団体からの要請で実施した観察会（受託観察会）を加えたものであったが、今回、それらを別々にしたこと。
- ②また、昨年削減した受託観察会の具体例（抽出）を、迷ったあげく今回また、増やしたこと。
- ③さらに、「掲示板」と「発表の場」のテキスト（文字）部分を全部載せたこと。これは会員の貴重な声として大切にしたい。ただし、投稿者がごく一部だった。

---

いずれにしても今回も業者の制作ですので見栄えはOKです。ただし、内容含め構成については今後とも要検討です。（年報担当：榊原正躬）



平成26年1月10日 作成  
連絡先 知多自然観察会  
代表 南川陸夫  
r-minami@ktf.biglobe.ne.jp

